

平成 20 年 12 月 25 日 発行

千環協ニュース

主 な 内 容

1. 平成 20 年度（第 32 回）通常総会及び臨時総会
2. 平成 20 年度役員紹介
3. 平成 20 年度合同委員会
4. 理事会報告
5. 活動レポート 平成 20 年度新任者教育講座
6. 活動レポート 平成 20 年度研修見学会
7. 活動レポート 第 46 回千環協ゴルフコンペ
8. 活動レポート 第 26 回千環協ソフトボール大会
9. 活動レポート 第 6 回経営者交流会開催報告
10. トピック 「計量関係功労者」千葉県知事表彰
11. 新会員紹介
会員名簿
編集後記



千葉県環境計量協会

Chiba Prefectural
Environmental Measurement Association

目 次

	頁
1. 平成20年度(第32回)通常総会	1
1-1. 総会挨拶(会長 津上昌平)	1
1-2. 平成20年度(第32回)通常総会報告	3
1-3. 平成19年度事業報告・監査報告	5
1-4. 平成20年度事業計画	13
平成20年度臨時総会報告	14
2. 平成20年度役員紹介	15
3. 平成20年度合同委員会	17
3-1. 会長挨拶(会長 武藤敏夫)	17
3-2. 担当委員一覧及び委員会別活動計画	18
3-3. 計量検定所からの伝達事項(千葉県計量検定所)	23
4. 理事会報告	25
5. 活動レポート 平成20年度新任者教育講座	30
5-1. 平成20年度新任者教育講座 アンケート結果	31
5-2. 平成20年度新任者教育講座を終えて(中外テクノス(株) 齋藤学)	33
5-3. 平成20年度新任者教育講座を終えて (株)東京化学分析センター 平香津典・河原崎栄子 中村理沙・鈴木典子)	34
5-4. 平成20年度新任者教育講座を終えて(株)ユーベック 中村広樹)	36
6. 活動レポート 平成20年度研修見学会	37
6-1. 平成20年度千葉県環境計量協会研修見学会を振り返って (教育・企画委員長 戸邊光一朗)	38
6-2. 研修見学会の感想((財)千葉県環境財団 木内敏之)	42
6-3. 千葉県環境計量協会 研修見学会に参加して ((財)千葉県薬剤師会検査センター 藤井則昭・田中清弘)	43
6-4. 千葉県環境計量協会研修会 感想 (株)ユーベック 真鍋絵理・松尾かんな)	44
7. 活動レポート 第46回千環協ゴルフコンペ	45
7-1. 第46回千環協ゴルフコンペ開催報告(株)日本環境 鈴木広美)	45
7-2. 第46回千環協ゴルフコンペに優勝して(株)環境管理センター 青木鉄雄)	47
8. 活動レポート 第26回千環境ソフトボール大会 (総務委員長 荒木徹)	48
9. 活動レポート 第6回経営者交流会開催報告 (経営・業務委員長 綾田隆史)	50
9-1. 登録許可および社員の資格取得・育成に関するアンケート集計結果報告 (経営・業務委員会)	51
9-2. 生活習慣病および心の健康について((財)君津健康センター 山瀧一)	56

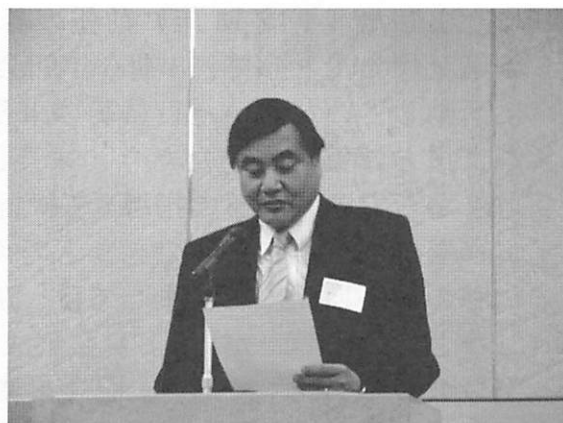
	頁
10. トピック 「計量関連功労者」千葉県知事表彰	
名取元会長が平成20年度「計量関係功労者」千葉県知事表彰を受賞	67
知事表彰受賞にあたって（第8代千環協会長 名取昭平）	67
11. 新会員紹介	
11-1. 株式会社エイビス	68
11-2. 財団法人千葉県環境財団	69
11-3. 財団法人千葉県薬剤師検査センター	70
11-4. 株式会社中研コンサルタント	71
会員名簿	72
編集後記	巻末

1. 平成 20 年度（第 32 回）通常総会

（平成 20 年 4 月 18 日）

1 - 1. 会長挨拶

千葉県環境計量協会
会長 津上 昌平



ただいま紹介いただきました、当協会の会長を務めさせていただいております、習和産業株式会社の津上昌平と申します。本日の平成 20 年度第 32 回通常総会の開会に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

本日はお忙しい中、また足元の悪い中をたくさんの会員の方にお集まりいただいております。また、ご来賓といたしまして、監督官庁である千葉県計量検定所よりこの 4 月に着任されました米谷所長様にお運びいただいております。本日ここにお集まりいただきました多数の方々に、協会を代表いたしまして厚く御礼を申し上げます。

さて、新年度となり会員各社におかれましては、新入社員を迎えられるなど新たな気持ちで活動されているかと思えます。今年度は 7 月に予定されている洞爺湖サミットや、8 月の北京オリンピックなど日本、アジアが世界の注目を集める年になると考えられます。経済問題や人権問題と共に、特に地球温暖化に代表される地球環境問題については、これから取り組むべき大きなテーマとして広く認識されております。環境測定・分析を生業とする私たちにとっても、今後も社会に貢献する機会がますます増えていくと考えられます。

千葉県環境計量協会では、昨年の総会において協会規約の一部改正を行い、県単レベルとしては全国的にも初めてと思われる「倫理綱領」を制定いたしました。企業または技術者個人として、環境計量の重要性を十分に認識して、

分析の精度管理、技術の向上のために、これからも地道な努力を続けていくことが必要であると、私は認識しております。

本日はこれから第32回目となる通常総会を開催いたします。平成19年度の事業報告、収支決算、平成20年度の事業計画、収支予算案につきましてご説明し、ご審議いただく予定です。また、今回は二年毎の役員改選期にあたり、新しい役員の選任についてもご審議いただきます。ここで予めお伝えしておきますが、今回の総会をもって私津上は千環協の会長を辞することになりました。平成14年に前任の名取会長の後を受け、この伝統ある千環協の第9代会長として、3期6年間会長職を務めさせていただきました。一緒に活動していただいた役員及び事務局の方をはじめ、会員の皆様の絶大なるご支援とご協力をいただき、また計量検定所をはじめ日環協他関係機関の方々からも多大なるご指導、ご鞭撻を賜り、微力ながら何とか会長としての責務を全うすることができたと考えております。

私の在任期間におきましては、協会ホームページの開設や、委員会の見直しなど行いましたが、何よりも平成18年に実施した協会の30周年記念事業が最大のイベントでした。記念事業として協会のシンボルマークの公募、制定や100名以上の方にご参加いただき盛大に開催した記念式典、また記念誌の発行など、私にとってひとつひとつが大切な思い出となっています。

今回の総会を最後に千環協会長として協会活動には携わることはなくなりますが、この6年間の経験を生かして、一会員、一個人として今後も皆様のお役に立ちたいと考えております。本日は退任の挨拶を含めて開会の挨拶とさせていただきます。長い間、皆様まことにありがとうございました。

1-2. 平成20年度（第32回）通常総会報告

千葉県環境計量協会

1. 開催年月日：平成20年 4月18日（金）15：30～16：30
2. 場 所：プラザ菜の花
3. 出席会員：32社（委任状26社） 計58社
4. 会長挨拶：千葉県環境計量協会 津上 昌平 会長
5. 来賓挨拶：千葉県計量検定所 米谷 賢徳 所長
6. 議 題：
 - (1) 第1号議案 平成19年度 事業報告の件
 - (2) 第2号議案 平成19年度 決算報告の件
会計監査報告
 - (3) 第3号議案 役員選出の件
 - (4) 第4号議案 平成20年度 事業計画（案）
 - (5) 第5号議案 平成20年度 収支予算（案）
 - (6) 退任役員表彰 新任役員挨拶
 - (7) 新入会員紹介
 - (8) 連絡事項

総会は、日本軽金属㈱ 石澤理事の司会で開催され、出席会員の32社、委任状提出26社、合計58社の出席で規約16条により会員数の1/2以上の出席を満たしており、総会は成立するとの宣言がなされた。

- (1)(2) 第1号議案及び第2号議案について、㈱太平洋コンサルタント丸田副会長より説明後、会計監査報告をJFEテクノリサーチ㈱ 満尾監事より監査報告があり全会一致で承認された。
- (3) 第3号議案について、習和産業㈱ 津上議長より説明後、議長一任となり緊急理事会を行い、議長案を説明、賛成多数により承認された。
- (4)(5) 第4号議案及び第5号議案について、日鉄環境エンジニアリング㈱内野副会長より説明後、全会一致で承認された。
- (6) 退任役員表彰 新任役員挨拶
会長 津上 昌平氏（習和産業㈱）、副会長 丸田 俊久氏（太平洋コンサルタント㈱）、経営・業務委員長 藤谷 光男氏（中外テクノス㈱）、総務委員長 石澤 善博氏（日本軽金属㈱）の多大な貢献に対し表彰された。
後任として、会長 武藤 敏夫氏（東電環境エンジニアリング㈱）、副会長兼広報・情報委員長 吉本 優氏（㈱環境管理セ

ンター)、総務委員長荒木 徹氏 (セイコーアイテクノロジー㈱)、経営・業務委員長 綾田 隆史氏 (㈱太平洋コンサルタント)、監事 望月 正氏 (JFEテクノロジー㈱) が就任された。

改選後の役員は下記の通り

会 長 : 武藤 敏夫氏 (東電環境エンジニアリング㈱)
副 会 長 : 内野 洋之氏 (㈱新日化環境エンジニアリング)
副 会 長 : 吉本 優氏 (㈱環境管理センター)
(兼)広報・情報委員長
総務委員長 : 荒木 徹氏 (セイコーアイテクノロジー㈱)
経営・業務委員長 : 綾田 隆史氏 (㈱太平洋コンサルタント)
教育・企画委員長 : 戸邊 光一朗氏 (キッコーマン㈱)
技術委員長 : 村上 高行氏 (㈱住化分析センター)


(7) 新入会員紹介

正会員として、中研コンサルタント㈱、(財)千葉県環境財団の入会
が紹介された。

(8) 連絡事項

合同委員会開催 (5月16日) の件、その他

以上の内容を全て承認のうえ、第32回通常総会が終了した。

(株) ダイワ
署名人 伊藤 祐 

日本環境財団 理事
署名人 鈴木 吉美 

1-3. 平成19年度事業報告・監査報告

1. 会員の状況

入会正会員 (株)中研コンサルタント
入会賛助会員 (株)エイビス
退会正会員 住友金属鉱山(株)
会員区分変更 (株)環境技術研究所 正会員から賛助会員へ変更
これにより本年3月31日現在、正会員60社、賛助会員5社、
合計65社となる。

(会員数としては、前年度より1社増)

2. 役員の状況

監事の福田文二郎氏(JFEテクノリサーチ(株))が、平成19年6月に退職され、後任として、満尾 勝氏(JFEテクノリサーチ(株))が就任された。

その他の理事、監事についての変更はなかった。

平成20年3月31日現在の役員は下記の通りである。

会 長	;	津上 昌平	(習和産業(株))
副会長	;	丸田 俊久	((株)太平洋コンサルタント)
副会長	;	内野 洋之	(日鉄環境エンジニアリング(株))
経営・業務委員長	;	藤谷 光男	(中外テクノス(株))
総務委員長	;	石澤 善博	(日本軽金属(株))
教育・企画委員長	;	戸邊 光一朗	(キッコーマン(株))
技術委員長	;	村上 高行	((株)住化分析センター)
広報・情報委員長	;	吉本 優	((株)環境管理センター)
監事	;	満尾 勝	(JFEテクノリサーチ(株))
監事	;	丸山 孝彦	(日建環境テクノス(株))

3. 会議

(1) 通常総会 (担当 総務委員会)

月 日：平成19年4月20日(金)

場 所：プラザ菜の花

出 席：会員23社、委任状提出20社、合計43社
人員30名、来賓他3名、合計33名

内 容：1. 平成18年度 事業報告
2. 平成18年度 決算報告 同会計監査報告
3. 平成19年度 事業計画(案)
4. 平成19年度 収支予算(案)
5. 協会規約の一部改正

以上原案通り承認された。また、協会規約の改正に併せて、制定した倫理綱領(案)が承認された。

特別表彰；平成18年度に退任された、技術委員長 村上雅志氏((株)住化分析センター)及び、教育・企画委員長 堀内達雄氏(キッコーマン(株)分析センター)の両氏の多大な貢献に対して表彰された。

(2) 理事会

会務執行のため、次の8回開催した。

平成19年4月11日 規約改正、倫理綱領の件

4月20日 通常総会運営の件

5月15日 合同委員会運営、関係団体報告等

9月 7日 技術事例発表等

11月 9日 パネルディスカッション運営の件等

12月 4日 新春講演会運営の件等

平成20年1月25日 事業計画案検討等

3月 7日 役員改選等

(3) 合同委員会 (担当 業務委員会)

月 日：平成19年5月15日(金)

場 所：プラザ菜の花

出 席：会員20社、人員30名、来賓2名、合計32名

内 容：各委員会の活動計画を具体的に討議し、各委員長による活動方針

活動計画の発表があり、承認された。

また、計量検定所からの伝達事項として、平成18年度に実施された環境計量証明事業者立入り検査の結果について報告された。

4. 研修会・講演会

(1) 第6回新任者教育 (担当 教育・企画委員会)

月 日：平成19年7月6日(金)

場 所：プラザ菜の花

出 席：会員18社、人員34名

内 容：(社)日本環境測定分析協会関東支部との共催で、
新任者教育

を下記内容にて実施し、好評であった。

[講義]・環境計量の仕事とは

・労働安全衛生

・精度よい測定のためには

[講師]・千環協 津上昌平氏、

(財)千葉県環境財団 眞利子 浩氏、

セフティレビュー 大山喜彦氏

(2) 第28回研修見学会 (担当 教育・企画委員会)

月 日：平成19年7月27日(金)

場 所：産業技術総合研究所 計量標準総合センター他

出 席：会員11社、25名、首都圏環協連より7名
合計32名

内 容；首都圏環協連との合同にて、つくば市の産業技術
総合研究所内の計量標準総合センター、サイエンス
スクエアつくばを見学し、牛久シャトーで昼食会
を開催した。

(3) 平成19年度技術委員会W/G成果発表と第18回技術事例発表会 (担当 技術委員会)

月 日：平成19年11月9日(金)

場 所：プラザ菜の花

出 席：会員26社、人員49名、来賓他4名、合計53名

内 容：

(イ) W/G成果発表等

①精度・計量管理WG

「技術教育について」会員企業訪問インタビュー報告

②クロスチェックWG

第28回共同実験

(底質中の鉛、カドミウム含有量)結果報告

(ロ) 技術事例発表

- ① 「小櫃川河口域における環形動物の分布」
(株) 環境管理センター 井深 聡
- ② 「固相抽出 GC/MS 法による水道法農薬類の回収率向上
について」
(株) 上総環境調査センター 北橋 薫
- ③ 「気中塩基性成分のキャピラリー電気泳動法による定量」
(株) 住化分析センター 嶋田 いつか
- ④ 「セメント中のフッ化物イオンの吸光検出／フロー
インジェクション分析のための簡便・迅速な熱加水
分解前処理」
(株) 太平洋コンサルタント 野口 康成
- ⑤ 「遺伝子解析の新規技術の開発と微生物分析等への利用」
日鉄環境エンジニアリング(株) 十川 英和

(4) 第22回パネルディスカッション、技術講演会

(担当 教育・企画委員会)

月 日：平成19年11月30日(金)

場 所：プラザ菜の花

出 席：会員12社、人員20名

内 容：パネルディスカッション

第28回共同実験結果(底質中の鉛、カドミウム
含有量について)

技術教育についての情報交換

技術講演会

演題：「千葉県における悪臭防止対策 臭気指数による規制」

講師：千葉県環境研究センター大気研究室

上席研究員 井上 智博氏

- (5) 第26回新春講演会 (担当：総務委員会)
 月 日：平成20年1月25日(金)
 場 所：プラザ菜の花
 出 席：会員25社、人員42名、来賓他11名、合計53名
 内 容：
 (イ) 第1講演
 演題：「千葉県揮発性有機溶剤の排出及び飛散の抑制のための
 取組の促進に関する条例の公布について」
 講師：田中 勉氏(千葉県環境生活部大気保全導主幹)
 (ロ) 第2講演
 演題：「有機フッ素化合物の分析法 LC/MS/MS を用いた分析
 及び前処理」
 講師：今野 靖氏(アジレント・テクノロジー株式会社)
- (6) 交流懇談会
 月 日：平成19年10月23日(金)
 場 所：習和産業株式会社社会議室
 出 席：会員12社、人員20名
 内 容：経営・業務委員会で実施した協会活動についての
 アンケートまとめについて報告、意見交換を行った。
 下記のテーマで講演会を実施した。
 演題：「職場におけるメンタルヘルス(うつ病予防と復帰支援)」
 講師：村越 登祐氏(日本産業カウンセラー協会東関東支部)

5. その他の事業

- (1) 広報・情報委員会
 千環協ニュース No. 79, 80号を発行。(80号は編集中)
 会員他関係先に配布した。
- (2) 総務委員会
 (イ) 第25回ソフトボール大会
 月 日：平成19年9月29日(土)
 場 所：稲毛海浜公園グラウンド
 参 加：会員14社
 結 果：優 勝 (株)上総環境調査センター
 準優勝 JFEテクノリサーチ(株)
 3 位 (株)住化分析センター
 イカリ消毒(株)

(ロ) 第44回親睦ゴルフコンペ
月 日：平成19年6月2日(土)
場 所：千葉桜の里ゴルフクラブ
参 加：16名
結 果：優 勝～青木鉄雄氏(株)環境管理センター)
準優勝～宮沢康弘氏((株)ダイワ)
3 位～石澤善博氏(日本軽金属株)

(ハ) 第45回親睦ゴルフコンペ
月 日：平成19年12月1日(土)
場 所：成田フェアフィールドゴルフクラブ
参 加：12名
結 果：優 勝～鈴木広美氏(日本環境株)
準優勝～伊藤裕一氏((株)ダイワ)
3 位～相馬顕紀氏(クリタ分析センター株)

(3) 経営・業務委員会

平成19年度版千環協案内を作成、会員及び関係機関へ配布した。
また、協会ホームページより作成した各社の事業案内を閲覧できるようにした。

6. 協力関係

(1) (社) 日本環境測定分析協会

千環協より、会長の津上氏(習和産業株)が関東支部役員として、会務の執行にあたる他、下記の環境セミナーに参加した。

第14回 日環協環境セミナー in YUGAWARA

月 日：平成19年6月21日(木)～22日(金)
場 所：ウェルシティ湯河原
出 席：120名
内 容：

1日目 特別講演 「行政から見た環境計量証明事業への期待」
講師：東京都多摩環境事務所 環境改善課課長 宮川 正孝氏
パネルディスカッション「信頼性確保について」
パネリスト：東京都多摩環境事務所 宮川正孝氏
神奈川県環境科学センター 武田麻由子氏
(株)環境管理センター 朝来野国彦氏
日本環境(株) 関 友博氏
コーディネーター；佐々木技術士事務所 佐々木克典氏

2日目 機器展示メーカーによる商品紹介

技術事例発表10件、

千環協より渡辺千春氏((株)住化分析センター)と大石徹氏(日鉄環境エンジニアリング株)より発表がなされた。

(2) 首都圏環境計量協議会連絡会

本年度は、千環協から3名の委員を派遣し、各種事業に参画、協力した。

[委員会] 計5回

[研修見学会] 1回

月 日：平成19年7月27日(金)

場 所：産業技術総合研究所(つくば市)他

(3) 千葉県計量協会

千環協より、会長及び両副会長の3名が、理事として参画し会務執行にあたった。

(イ) 通常総会(第31次)

月 日：平成19年6月19日(火)

場 所：オークラ千葉ホテル

(ロ) 理事会・副会長会議

平成19年6月19日(火)

平成19年12月18日(火)

(ハ) 賀詞交歓会

月 日：平成20年1月22日(火)

場 所：プラザ菜の花

8. その他

・配布資料等

(1) 新任者教育テキスト

(2) 「技術教育について」会員企業訪問インタビュー調報告

(3) 第28回共同実験結果(底質中の鉛、カドミウム含有量)

(4) 第20回環境測定技術事例発表会要旨集

(5) 平成19年度版千環協案内

(6) 千環協ニュースNo. 79, 80号

(7) 協会活動についてのアンケートまとめ

(8) 技術講演会資料

(9) 新春講演会資料

(10) 交流懇談会講演会資料

・ホームページの活用

協会のPRと会員への情報提供、会員相互の情報交換を実施するため、協会としてのホームページを平成17年度に開設し、協会の活動内容等を広報・情報委員会にて随時更新して掲載した。現在掲載している内容は下記の通り。

①TOPページ

②協会について(組織、会員名簿、規約、倫理綱領)

- ③協会の活動（各委員会の紹介）
- ④千環協ニュース（No. 77より）
- ④リンク
- ⑤会員のページ

9. 第28回共同実験 参加事業所 (50音順)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| (1) 旭硝子(株) | (2) 出光興産(株) |
| (3) (株)上総環境調査センター | (4) (株)環境管理センター |
| (5) キッコーマン(株) | (6) (株)建設技術研究所 |
| (7) 合同資源産業(株) | (8) (株)三造試験センター |
| (9) JFE テクノリサーチ(株) | (10) 習和産業(株) |
| (11) (株)杉田製線 | (12) (株)住化分析センター |
| (13) 住鋳テクノリサーチ(株) | (14) 住友大阪セメント(株) |
| (15) 住友金属鋳山(株) | |
| (16) セイコーアイ・テクノリサーチ(株) | |
| (17) (株)太平洋コンサルタント | (18) (株)ダイワ |
| (19) 妙中鋳業(株) | (20) 中外テクノス(株) |
| (21) 月島テクノソリューション(株) | (22) (株)東京化学分析センター |
| (23) 東京テクニカル・サービス(株) | (24) 東電環境エンジニアリング(株) |
| (25) 東洋テクノ(株) | (26) (株)永山環境科学研究所 |
| (27) ニッカウキスキー(株) | (28) 日鉄環境エンジニアリング(株) |
| (29) 日鉄環境エンジニアリング(株) | (30) (株)日鐵テクノリサーチ |
| (31) 日本軽金属(株) | (32) (社)日本工業用水協会 |
| (33) 日立プラント建設サービス(株) | (34) (株)古河電工エンジニアリングサービス |
| (35) (株)三井化学分析センター | (36) (株)ユーベック |
| (37) ヨシザワ(株) | |

1-4. 平成20年度事業計画

本協会は2006年に創立30年目の節目を迎え、次の節目となる創立40周年、50周年に向けてさらに一致団結した気持ちで活動していきたいと考えております。そのために業界団体と致しましても、より一層の分析技術の向上、精度管理、信頼性の確保に努力致したいと考えます。また、このような背景から、本年度は次のような事業を行い、会員各社の発展に寄与したいと思っております。

1. 研修会・講演会等の実施

技術の習得や、知識の向上を図るため、研修見学会、講演会等を実施する。

2. 技術事例発表会、新任者教育、会員交流会の実施

技術委員会の下に、精度・計量管理、クロスチェック等のワーキンググループ活動を行い、その研究成果を発表するとともに、会員による測定分析についての技術事例発表会を実施する。また、新任者教育、会員交流会、勉強会を適宜開催する。

3. 共同実験とパネルディスカッションの実施

会員相互の技術レベルの向上を図るため、共通試料を用いたクロスチェック（共同実験）を行い、その結果を基に、パネルディスカッションを実施する。

4. 情報の収集と提供

官公庁、日環協、首都圏環協連等から関連情報の収集に努め、研修会、会誌を通じて会員に提供する。また、会員への情報提供、協会活動のPR、会員相互の情報交換のためにホームページを活用する。

5. 協力関係

千葉県計量協会、日環協関東支部、首都圏環協連等の関連団体の各事業に参画し、技術情報等を収集して会員各社へ提供する。

6. 親睦関係

会員相互の親睦を深めるため、ソフトボール大会等の催しを行う。

平成20年度臨時総会報告

千葉県環境計量協会


1. 開催年月日：平成20年 7月11日（金）16：30 開会
2. 場 所：プラザ菜の花
3. 出席会員：12社（委任状33） 計45社
4. 開 会：千葉県環境計量協会 内野 洋之 副会長
5. 議 題：（1）第1号議案 平成20・21年度
理事（副会長）新任の件

臨時総会は、東電環境エンジニアリング㈱ 武藤会長の司会で開催され、出席会員の12社、委任状提出33社、合計45社の出席で規約15条により会員数の1/2以上の出席を満たしており、総会は成立するとの宣言がなされた。


（1）第1号議案について、日鉄環境エンジニアリング㈱内野副会長より甘崎恭徳氏（中外テクノス㈱）を新たに平成20・21年度 理事（副会長）に選任し、協会の運営にあたることとの議案が提出され、全会一致で承認された。

以上の内容を全て承認のうえ、平成20年度 臨時総会が終了した。

習和産業（株）

署名人 津上 昌平 

（株）三井化学分析センター

署名人 安村 則美 

2. 平成20年度役員紹介



会 長：武藤 敏夫
(東電環境エンジニアリング(株))

昭和24年5月24日新潟県生まれ

—趣味・特技—

若いころはテニスをやっていましたが、今は小さな家庭菜園程度です。

—千環協活動に対する抱負—

本年度から会長をおおせつかっています。微力ながら環境計量証明事業の発展のため努力したいと思います。会員皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



副 会 長：内野 洋之
(日鉄環境エンジニアリング(株))

昭和29年8月4日 長崎県生まれ

—趣味・特技—

毎休日は、家庭菜園と千匹のメダカの世話でつぶれています。

—千環協活動に対する抱負—

現在、事業所の精度管理と分析技術者の技術向上の両面が求められており、計量証明事業に携わる全員が息もつかない状況にいます。一方で役割と責任はますます重くなっています。この時期に副会長を務めることに大変な責任を感じています。今年度も「魅力ある活動」に努め、技術などの会員交流を増やしていきたいと思っています。会員各位のご協力をお願いします。



副 会 長：甘崎 恭徳
(中外テクノス(株))

昭和35年3月21日 広島県生まれ

—趣味・特技—

テニス(最近あまりプレイできていません)
野球観戦(マリナーズファンです)
読 書(主に歴史・推理小説)

—千環協活動に対する抱負—

理事・副会長として今年度から活動させていただくことになりました。環境計量業界が発展していくことは、安全、安心な社会の実現につながると考えています。

微力ではありますが、できるだけ努力をしております。ご協力及びご指導のほどお願い申し上げます。



副 会 長：吉本 優
(兼)広報・情報委員長 (株)環境管理センター)

昭和31年6月1日 福岡県生まれ

—趣味・特技—

メタボと診断された体型を改善すべく、「歩き」を趣味にしようと思っていますが、「歩き」よりも「飲み」にはまってしまう反省の日々です。

—千環協活動に対する抱負—

千環協の理事となってもう6年目です。毎回千環協ニュースの発行が遅れ気味で、会員の皆様には申し訳なく思っていますが、ホームページのリンク集が整備できたことで少しほっとしています。協会ホームページを会員に皆様とともに有効に活用し、千環協のブランド力を高めるべく、活動していきたいと考えています。



総務委員長：荒木 徹
(セイコーアイ・テクノロジー㈱)

昭和41年11月20日 東京都生まれ

—趣味・特技—

会社の健康診断で、“判ってますよね？”とメジャーを片手に持った看護婦さんから今年ニッコリ微笑まれてしまいました。何か始めなくては…と思いつつ、旅先での美味しいもの巡りが止められない昨今です。

—千環協活動に対する抱負—

石澤前委員長の後を受けて、本年度より総務委員長を拝命致しました。微力ながら、リクリエーションや講演会などのイベントを通じ、会員各社皆様相互の親睦を図るべくお手伝いさせて頂こうと考えております。

まだまだ若輩者ではありますが、何卒宜しくお願い申し上げます。



経営・業務委員長：綾田 隆史
(㈱太平洋コンサルタント)

昭和31年8月24日 東京都生まれ

—趣味・特技—

趣味はスポーツジム通いです。一時苦しんだ腰痛が再発しないように減量のためのジョギング、筋トレなどに励んでおります。

—千環協活動に対する抱負—

本年5月に経営・業務委員長を仰せつかりました。赤本発行、講演会、アンケートなどを通して少しでも会員の皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。今後ともご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



教育・企画委員長：戸邊 光一朗
(キックマン㈱ 分析センター)

昭和27年8月8日 千葉県生まれ

—趣味・特技—

- ・始めたばかりのゴルフ
- ・趣味と実益？を兼ねた競馬
- ・ダイエットのためのジョギング

—千環協活動に対する抱負—

皆様の協力を得て、教育・企画委員長としての大任を果たしたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。参加して下さった方達に、良い印象が残るような企画にしたいと考えております。積極的に、ご意見、ご要望などお寄せ下さい。



技術委員長：村上 高行
(㈱住化分析センター 千葉事業所)

昭和33年9月11日 福島県生まれ

—趣味・特技—

旅行(史跡巡り、自然美鑑賞、温泉)、海釣り(獲物は感謝しておいしく)、読書(素人なりに古代史にはまり)、家庭菜園(庭がないのでプランタ栽培)、グルメであちこち(最近はタイ料理)、そしてカラオケでストレス解消です。

—千環協活動に対する抱負—

技術委員長の重任を仰せつかって3年目です。未熟者ですが、会員皆様の技術および品質の向上に少しでも寄与できるように取り組んで参りますので、ご指導、ご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。

精度・計量管理やクロスチェックについてどしどしご意見・ご要望をお寄せください。また、秋恒例の技術事例発表会へも多くの皆様のご参加を是非お願い致します。

3. 平成20年度合同委員会

3-1. 会長挨拶

千葉県環境計量協会
会長 武藤 敏夫



(平成20年5月16日 プラザ菜の花)

只今ご紹介いただきました、当協会の会長を務めさせていただいております、東電環境エンジニアリング株式会社の武藤でございます。本日は、お忙しいところ多くの方のご出席をいただきありがとうございます。また、千葉県計量検定所より岡次長、江澤さまのご出席をいただいております。引き続きご挨拶と通達事項をお願いする予定となっております。よろしくお願いいたします。

先の総会におきましてご承認いただき、新しい布陣となり最初の仕事であります。何分役員の方が半分が交代となり、いろいろ勉強しながらすべり出したところでもあります。本日は、本会の活動の中心となる平成20年度の各委員会の活動計画を議論する委員会であります。皆様の忌憚りの無いご意見を頂き、少しでも役に立つ活動計画になればと思っています。

本日午前中に理事会を開催しましたが、来年度の環境セミナーへの準備に関する話も出ております。本日の活動計画以外にも皆様のご協力を頂けなければならないことも出てくることと思います。合わせてご協力のほどよろしくお願いいたします。簡単ですが開会の挨拶とさせていただきます。

3-2. 担当委員一覧及び委員会別活動計画



総務委員会

	氏名	事業所名
委員長	荒木 徹	セイコーアイ・テクノリサーチ㈱
委員	山本 重俊	㈱環境管理センター
〃	鈴木 広美	日本環境㈱
〃	安田 喜孝	習和産業㈱
〃	伊藤 裕一	㈱ダイワ
〃	戸加里 太一	日本軽金属㈱ 船橋分析センター
〃	安田 和久	セイコーアイ・テクノリサーチ㈱



活動

活動名	実施(予定日)	会場等
第46回 ゴルフコンパ	6月 7日	神崎カントリー倶楽部
第25回 ソフトボール大会	9月 20日	稲毛海浜公園グラウンド
第47回 ゴルフコンパ	11月	未定
第27回 新春講演会・賀詞交換会	1月 23日	プラザ菜の花
第33回 通常総会	4月 17日	プラザ菜の花



教育・企画委員会

	氏名	事業所名
委員長	戸邊 光一朗	キックマン㈱ 分析センター
委員	松本 崇	東電環境エンジニアリング㈱
〃	松田 聡	出光興産㈱ 中央研究所
〃	出口 和男	㈱中研コンサルタント
〃	内野 洋之	日鉄環境エンジニアリング㈱ 東京営業所



活 動

活 動 名	実施(予定日)	活動内容
新入者教育	7月11日	会場；ﾌﾟﾗﾝﾀﾞ菜の花 1. 導入、2.技術、3.安全
研修見学会	10月3日	行先；食品分析センター
ﾊﾟﾈﾙディスカッション・技術講演会	11月28日	会場；ﾌﾟﾗﾝﾀﾞ菜の花 クロスチェック参加者による問題点の 班単位の討議、技術講演会の 内容は今後検討



経営・業務委員会

	氏 名	事 業 所 名
委員長	綾田 隆史	(株)太平洋コンサルタント
委 員	鈴木 信久	中外テクノス(株)
〃	高嶋 一英	(株)日曹分析センター
〃	角田 幸喜	(株)日本公害管理センター



活 動

活 動 名	実施(予定日)	活動内容
千環協案内発行	7月中旬	原稿依頼
	8月中旬	原稿回収及び名簿確認
	9月中旬	校正・編集
	10月中旬	発行
経営交流会	～6月末	アンケート内容検討・原稿作成
	7月中旬	アンケート発送
	8月中旬	アンケート回収・まとめ
	10月中	集計結果の報告



広報・情報委員会

	氏名	事業所名
委員長	吉本 優	(株)環境管理センター 東関東支社
委員	伊藤 浩征	(株)住化分析センター 千葉事業所
〃	相馬 顕紀	クリタ分析センター(株)
〃	高垣 博志	イカリ消毒(株) LC環境検査センター
〃	初瀬川 ひろ美	(株)東海地質
〃	結城 清崇	ヨシザワ(株) 柏研究所
〃	吉野 昭仁	習和産業(株)



活動

活動名	実施(予定日)	活動内容
ホームページ	6月上旬	HP 掲載原稿の作成と掲載及び 会員周知
	6月20日	HP 掲載を活動の中心に移行
会誌発行	9月19日	No.81号 第1回編集会議
	11月21日	No.81号 第2回編集会議
	12月末	No.81号 会誌発行
	2月13日	No.82号 第1回編集会議
	3月13日	No.82号 第2回編集会議
	3月末	No.82号 会誌発行



技術委員会

	氏名	事業所名
委員長	村上 高行	(株)住化分析センター

■精度・計量管理ワーキンググループ

	氏名	事業所名
リーダー	坂本 保子	(株)住化分析センター
委員	今井 靖子	日建環境テクノス(株)
〃	折山 浩樹	(株)環境管理センター
〃	永友 康浩	(株)環境コントロールセンター
〃	長瀬 孝宏	(株)太平洋コンサルタント
〃	平山 千恵子	(株)加藤建設
〃	永塚 孝幸	京葉ガス(株) 技術研修センター



活動

活動名	実施(予定日)	活動内容
〈テーマ〉 「技術教育に関する訪問インビュ-Ⅱ」		
第1回WG	6月11日	訪問先、インビュ-内容検討
メール等で打合せ	7月初旬	インビュ-事項選定
〃	7月初旬～中旬	訪問企業への依頼、日程調整
訪問実施	8月	訪問、インビュ-実施
第2回WG	9月中旬	インビュ-内容報告、まとめ方相談
訪問結果纏め	9月末	各担当毎の纏め作成、メンバー相互確認
訪問結果原稿完成	10月	まとめ原稿作成
成果発表	11月	発表

■クロスチェックワーキンググループ

	氏 名	事 業 所 名
リーダー	矢根 可央	(株)住化分析センター
委員	安村 則美	(株)三井化学分析センター 市原分析部
〃	小駒 好一	日鉄環境エンジニアリング(株)
〃	吉田 常夫	(株)上総環境調査センター
〃	赤羽 徹	中外テクノス(株)
〃	村上 高行	(株)住化分析センター



活 動

活 動 名	実施(予定日)	活動内容
合同委員会	5月16日	第29回 クロスチェック実施 測定項目決定 (水中の Zn、Cu)
第1回WG	6月上旬	クロスチェックのお知らせ配布
	6月末	参加締め切り
第2回WG	7月下旬	試料作成、配布
第3回WG	8月末	分析結果の提出締め切り
第4回WG	10月末	合わせて測定結果解析・纏め
成果発表	11月7日	成果発表

3-3. 計量検定所からの伝達事項

千葉県計量検定所
総務企画課

A 平成19年度 環境計量証明事業者立入検査の結果について

1 実施機関及び実施事業所数

- (1) 実施機関 平成19年9月26日～平成19年10月31日(延べ11日間)
- (2) 実施事業所数 20事業者

2 実施結果(指摘事項内訳)

(1) 指導書交付(事業者)

- ・ 計量証明事業規程の全般的見直し
- ・ 登録簿記載事項と実態の不一致(設備)
- ・ 現状の設備一覧表が未作成
- ・ 濃度計(特定計量器)校正用標準物質の未整備
 - ※ 濃度計を取引又は証明における計量に使用する際には、計量法第18条。施行令第9条・別表第2及び施行規則第3条の規程により、標準物質(JCSSマーク付)により校正し、使用する必要があります。
- ・ 計量証明書の保存年数が不適切

(2) 口頭指導(事業者)

- ① 計量管理者に関すること
 - ・ 細則において正副の役割分担が未記載
- ② 事業規程に関すること
 - ・ 社内規程(品質管理規程)と細則がリンクされていない
- ③ 技術向上・教育にかんすること
 - ・ 講習会等の出席記録を保管のこと
 - ・ クロスチェック参加を検討のこと
 - ・ クロスチェック参加結果か記録が規程上の様式で保管されていない
 - ・ 個人別の実務経験・教育記録の整備不十分
- ④ 設備に関すること
 - ・ 濃度計(特定計量器)校正用標準物質が一覧表未記載
 - ・ (音圧・振動)自社で行えない性能試験の未実施
 - ・ 日常記録の内容を整備すること
 - ・ 設備台帳の記載事項が不十分(点検記録、製造年月、計量証明検査)
 - ※ 一機種一様式で作成すること。製造番号、製造年月日、検定・計量証明検査・重要な点検等の記録(外部に依頼した点検記録は一緒に)保管する。
- ⑤ 計量の方法に関すること
 - ・ ビュレット滴定量の読み取りが不適切(最小目盛の1/10まで読み取ること)
 - ・ 検量線の作成が不適切(4～5点で作成すること)
 - ・ 測定回数が不適切(細則に定めがなく回数減)
 - ※ 原則は2回(pHは3回)以上。JISで回数が定められているものはそれに従う。同一箇所でも証明実績が多いものは細則で定めた上で回数を減じることが可能。
- ⑥ 計量証明書の発行に関すること
 - ・ (音圧・振動)騒音計に係る防風スクリーン使用の旨が未記載
 - ・ 外注に係る記載が不十分

- ・ 計量の対象の記載が不適切(略語記載、年号抜け)
- ・ 計量証明対象外物質の記載が不十分
 - ※ 大腸菌群数等を計量証明書に他の対象物質と一緒に記載せざるを得ない場合は「〇〇(※印)は計量法第 107 条の計量証明対象外です」等と明確に記載する。また、対象外物質のみで計量証明書を発行しない。
- ・ 計量の結果、計量証明書に係る電子媒体使用時の保護規定が細則に未整備
- ・ 原始データから証明書までの関連又は転記記録が不明確
 - ※ 原始データ等にも証明書発行番号を記載し、関連性を明確にする。
- ・ 記録類の保存に係る事業規程の規定事項と社内規格との整合性を持たせること

B 平成 21 年度 環境計量証明検査の結果について

1 実施期間

平成 20 年 4 月 14 日～平成 20 年 4 月 16 日(延べ 3 日間)

2 検査結果

特定計量器種類	登録事業者数	検査事業所数	登録器数	検査器数	不合格数
ガラス電極式水素イオン濃度指示計	78	68	105	91	0
精密騒音計	20	19	70	42	1
普通騒音計			81	52	0
合 計			256	185	1

※ 検査事業者数の()内の数字は受検者実数

検査対象外：通知発送後に廃棄又は更新に伴う削除により変更の届出をした計量器
 免 除：平成 19 年 10 月～平成 20 年 4 月に検定等合格の計量器は、計量法第 116 条第 1 項第 1 号及び同法施行令第 29 条第 2 項別表第 5 に規定する計量証明検査を受けることを要しない期間に該当します。
 以上の計量器は事業者から届出提出の上、計量証明検査免除としました。

C 事務連絡

1 変更届出(登録申請書記載事項変更届、事業規程変更届出書)等の記載、提出について

- (1) 「2 変更のあった事項」の記載は新旧の対照を明確に記載してください。
- (2) 事業規程の中で変更の多い「組織、計量管理者の氏名及び設備」は別紙扱いとすることができます。この場合、登録申請書記載事項変更提出時に該当の別紙を添付の上、差し替えることとします。
- (3) 様式は計量法施行規則で規定されていますので、提出時に文面等を確認してください。

2 平成 21 年度計量証明検査の予定について

- (1) 実施予定時期 平成 21 年 4 月
- (2) 対象特定計量器 大気濃度計
- (3) 免除の取扱
 - ① 成 20 年 10 月～平成 21 年 3 月までの間に検定または基準適合検査合格の計量器
 - ② 平成 21 年 4 月～平成 21 年 9 月までの間に検定有効期限到来
 …平成 22 年 3 月までに指定検定機関による検定を受検(大気濃度計は巡回検定なし)

4. 理事会報告

(臨時理事会)

日 時：平成 20 年 4 月 4 日 16:00～17:00

場 所：プラザ菜の花

出席者：津上会長、内野副会長、藤谷理事、吉本理事、岡崎顧問、武藤様

1. 4/18 総会運営

平成 20 年度(第 32 回)通常総会資料の内容確認

2. 平成 20 年度役員等人事について

会長、その他役員の交代及び平成 20 年度候補について

3. 平成 20 年度予算案

4. 平成 20 年度事業計画(案)及び日程検討

5/16 の合同委員会

7/11 の新任者教育

5. 会員の拡大

千葉県環境財団の入会について

その他の県内計量証明事業所未入会団体について

(総会事前理事会)

日 時：平成 20 年 4 月 18 日 14:00～15:00

場 所：プラザ菜の花

出席者：津上会長、丸田副会長、内野副会長、石澤理事、藤谷理事、村上理事、戸邊理事、吉本理事、武藤様

1. 総会進行

平成 20 年度(第 32 回)通常総会資料の内容確認

通常総会運営スケジュールおよび役割分担の決定

会長、副会長、理事の退任役員表彰、新任役員挨拶について

新入会員紹介(中研コンサルタント様、千葉県環境財団様)について

2. 平成 20 年度主要行事の日程設定検討

合同委員会：5/16、新任者教育研修：7/11

第 187 回

日 時：平成 20 年 5 月 16 日 10:00～12:00

場 所：プラザ菜の花

出席者：武藤会長、内野副会長、吉本副会長、荒木理事、綾田理事、村上理事、戸邊理事、津上様

1. 年間行事計画と担当理事業務等の方針確認

各委員会における年度行事について(日程の決定と相互調整)

7/11：新任者教育・7/25：理事会・9月：拡大理事会

9/20：ソフトボール大会・10/3：研修見学会
10/17：交流懇談会・11/7：技術発表会
11/28：パネルディスカッション・1/23：新春公演会賀詞交換会
4/17：平成21年度通常総会

各委員の選任について
会長職引継ぎ事項について

2. 合同委員会の役割分担、進行
合同委員会の式次第及びスケジュールについて確認
千葉県計量検定所の平成19年度立入検査概要発表について
3. 平成20年度行事等
新任教育研修（7/11で講師依頼・テキストの準備等）
赤本発行工程について（H20年度は会員名簿だけの簡易版）
千環協HPの内容改定について
総務委員会の会員参加行事（ソフト、ゴルフ）の見直しについて
研修見学会のコースと開催時期の変更について
4. 関連団体報告事項
4-1. 日本環境測定分析協会関東支部
関東支部セミナー7/3-4と千環協からの技術発表について
平成21年度幕張支部セミナー開催に向けた準備委員会について
5. 新入会員
千葉県薬剤師検査センター様の入会について

第188回

日時：平成20年7月11日 15：00～16：00

場所：プラザ`菜の花

出席者：武藤会長、内野副会長、吉本副会長、荒木理事、戸邊理事、津上様、甘崎様

1. 理事<副会長> 新任および平成20・21年度役員改定案について
臨時総会前の確認と臨時総会対応について
候補：中外テクノス(株)甘崎様
2. 協会活動状況
新任教育研修（35名申し込み34名参加）の状況と交流会役割分担
研修見学会のコース案について（10/3）
千葉市産業廃棄物指導課からの照会（「環境計量証明書に係る標章について」の確認協力について）
平成21年度関東支部環境セミナーの会場予約と実行委員会発足について
3. 関連団体報告事項
3-1. 日本環境測定分析協会
5/21の第35回通常総会について
3-2. 日本環境測定分析協会関東支部
5/21役員会について

- 3-3. 関東支部環境セミナー
7/3-4の宇都宮セミナーについて
- 3-4. 首都圏環境連絡協議会
5/28の第1回委員会について及び7/18の第2回委員会予定について
- 3-5. 千葉県計量協会
6/24の第32次千葉県軽量協会通常総会について

第189回

日 時：平成20年8月8日 15：00～16：30

場 所：プラザ^o菜の花

出席者：武藤会長、内野副会長、甘崎副会長、吉本副会長、綾田理事、荒木理事、戸邊理事、岡崎顧問、津上様、青木様

1. 退会会員について
(社)日本工業用水協会の退会7月受理
2. 理事(副会長)新任に伴う平成20年度理事役割分担について
新副会長分掌：経営・業務委員会、教育・企画委員会、首都圏連
3. 日環協・関東支部環境セミナー in MAKUHARI 2009の準備委員会について
開催日：平成21年度7月2-3日
開催場所：幕張OVTA
準備委員メンバー及び工程、準備内容(特別会計の口座や事務局等)について
実行委員会責任者：武藤会長、実行委員長：津上様、副実行委員長：内野副会長、広報：吉本副会長、会場運営：荒木理事、技術発表：村上理事、公告・展示：甘崎副会長
次回実行委員会：10/17
4. 協会活動状況
技術委員会：技術教育事業所訪問及びクロスチェック、事例発表会の進捗
教育・企画委員会：新任者教育(7月)のアンケート結果
研修見学会(9月に案内・10/3に実施)
経営・業務委員会：10/17の経営者交流会について
メンタルヘルスと資格取得教育アンケート
9月の拡大理事会中止
5. 関連団体報告事項
7/18第2回首都圏環境計量協議会連絡会
9/5の平成20年度首都圏環境計量協議会連絡会の研修見学会の案内(幕張メッセ国際展示場2008分析展)
9/22の日本環境測定分析協会関東支部役員会について
日本環境測定分析協会関東支部会からの「公共入札制度に冠する調査について」のアンケート対応分担について
計量検定所からの計量関係功労者の推薦依頼について
千環協前会長名取様(セイコアイ・テックリサーチ株)推薦で検討

第190回

日時：平成20年10月17日 12:00～14:00

場所：プラザ`菜の花

出席者：武藤会長、内野副会長、甘崎副会長、吉本副会長、村上理事、綾田理事、戸邊理事、岡崎顧問、津上様、青木様

1. 協会活動状況

教育・企画委員会

10/3 研修見学会の件

19名参加

東京臨海リサイクルパワー(株)、サッポロビール千葉工場

11/28 パネルディスカッションおよび技術講演会の件

案内発行の件、講演会テーマの検討（JIS化の基本、干潟関連、1月の講演会との調整（あわせて官庁講演依頼について）

経営・業務委員会

10/17 経営者交流懇談会および赤本発行進捗の件

交流懇談会のスケジュールおよび概要と役割分担

技術委員会

11/7 WG成果・技術事例発表会の件

クロス40社参加

2. 異動に伴う役員交代について

次回継続審議

3. 次回理事会について（11/7 10:00より）

4. 計量関係功労者表彰の件

11/4 前協会会長の名取様（セイコーアイテクノロジー(株)）表彰

5. 第21回日環協関東支部環境セミナー in MAKUHARI 2009の準備委員会

関東支部役員会審議結果報告について

準備委員メンバー役割再確認

実行委員会責任者：武藤会長、実行委員長：津上様、副実行委員長：内野副会長、講演要旨集：吉本副会長、会場運営：荒木理事、技術発表：村上理事、公告・展示：甘崎副会長、講演会：綾田理事、見学会：戸邊理事

アドバイザー：岡崎顧問（関東支部事務局）、伊藤支部長、青木副支部長

当日のスケジュール概要について（初日の谷津干潟の見学会開催・谷津干潟関連講演者の選定、アプローチ、参加費等）

参加者目論見、参加費用、予算案（広告対象、出展対象企業のリスト化の準備）、来賓官庁等の検討

実行委員会スケジュールについて

次回実行委員会：11/7の理事会の後、現地確認 12/18 14:00-

第 191 回

日 時：平成20年11月7日 10：00～12：00

場 所：プラザ`菜の花

出席者：武藤会長、内野副会長、吉本副会長、村上理事、綾田理事、岡崎顧問、津上様（実行委員会から）

1. 入会会員について
株式会社出光プランテック千葉の入会承認（60会員+5賛助会員）
2. 協会活動状況
 - 経営・業務委員会
赤本発行と原稿訂正対応について
 - 技術委員会
11/7 WG成果・技術事例発表会のスケジュールおよび情報交換会役割分担
 - 教育・企画委員会
11/28のパネルディスカッションでの演題および講演者について
社団法人日本工業用水協会 本郷秀昭様
JIS K1020改正の概要について
 - 総務委員会
1/23の理事会と新春講演会の講演テーマと講演依頼について
12/6のゴルフコンペについて
 - 広報・情報委員会
協会HPへのニュース原稿の順次掲載について
協会HPの会員ページの活用について
2. 異動に伴う役員交代について
次回継続審議
3. 計量関係功労者知事表彰の報告
11/4 前協会会長の名取様（セイコーアイテクノリサーチ㈱）表彰
4. 次回理事会について（1/23 10：00～）
5. その他
東環協21回環境測定事例発表会（11/20）案内について
6. 第21回日環協関東支部環境セミナー in MAKUHARI 2009の準備委員会
広告・出展の誘致企業リストの確認およびリスト情報の集約について
広告費等の設定について
次回実行委員会：現地確認 12/18 14：00-

活動レポート

5. 平成20年度新任者教育講座

教育・企画委員長 戸邊光一朗

平成20年7月11日、教育・企画委員会主催、(社)日本環境測定分析協会関東支部共催で下記内容の新任者教育講座が開催され、今期は昨年とほぼ同様の16社34名(1名欠席)の参加者が受講されました。受講時にアンケートも実施しましたが、「参考になった」との意見が多数を占めました。また、今年は昨年度のアンケートで強い要望があった交流会を開催し、ほとんどの皆様が参加されました。

場所：プラザ菜の花

時間：9：30～18：30

内容：

- ①環境計量の仕事とは 津上 昌平 氏 習和産業(株)環境ビジネス事業部
環境計量士 千環協会会長
- ②労働安全衛生について 大山 喜彦 氏 セフティレビュー
中央労働災害防止協会
東京安全衛生教育センター講師
- ③精度良い測定のために 眞利子 浩 氏 財団法人 千葉県環境財団

No.	会員名	参加者	No.	会員名	参加者
1	株式会社上総環境調査センター	安彦 紗弥	9	㈱東京化学分析センター	鈴木 典子
		高梨 めぐみ			河原崎栄子
		井上 知香			井出 功一
2	株式会社環境管理センター 東関東支社	矢野 可子	10	東電環境エンジニアリング㈱	渡部 裕美子
		渡部 真妃			水木 しほり
3	合同資源産業㈱	石下 由梨枝	12	日鉄環境エンジニアリング㈱	下地 崇雅
4	㈱住化分析センター	稲葉 久美			戸曾 将和
5	㈱太平洋コンサルタント	松井 賢治			黒木 裕治
6	(財)千葉県薬剤師会検査センター	森 直樹	13	日鉄環境エンジニアリング㈱	山口 友平
		廣瀬 壮一郎			江越 俊史
		池田 将志			中井 広樹
7	中外テクノス㈱ 関東環境技術センター	日谷 淳	14	株式会社ユーベック	眞鍋 絵里
		水野 学			松尾 かな
		齋藤 学			吉成 博哉
		葛西 俊			井上 寛生
8	㈱中研コンサルタント	飯田 佳代	15	ライト工業㈱	長 信也
9	㈱東京化学分析センター	平 香津典	16	東京テクニカル	前田 美保
		中村 理沙			

5-1. 平成20年度新任者教育講座 アンケート結果

1. 参加者のプロフィール 参加者34名 アンケート回収33名

(1)性別

男:18名		女:15名
-------	--	-------

(2)年齢別

～25歳	～30歳	～40歳	～50歳	50歳以上	無記名
24	3	4	1	0	1

(3)仕事の内容

分析業務	管理	企画	営業	その他
30	0	0	2	1

その他内訳 調査業務 1

(4)業務経験

1年未満	1～3年	3年以上
25	6	2

(5)参加の動機

上司の薦め	本人の希望	無記名
31	0	2

2. 教育講座の感想

(1)環境計量の仕事とは
参考になった 33 どちらともいえない 0 参考にならない 0

感想

- ・今は分析をするだけでどのように計量証明されるか知らなかったなので、とても勉強になった。
- ・法律や計量証明の範囲など、実務にかかわる話や資格のことについての話が聞けてよかった。
- ・環境の歴史や背景法律等を学び、ただ分析するだけでなくそういったことを念頭に置き、分析をしたいと思いました。
- ・これからも、もっと勉強してがんばろうと思った。
- ・普段から自習していた内容を体系的に整理できた。
- ・環境分析には幅広い知識が必要だと再認識しました。
- ・いろいろ考えながら勉強していきます。
- ・資格を取得していきます(2名)。
- ・幅広い環境の仕事の中の自分の仕事について理解できた。
- ・環境計量についての幅広い知識を得ることができた。
- ・計量証明の対象物質について定義が分からなかったのがためになった。
- ・広範囲の内容であったが全て自分の仕事に関するものであった。分析技術以外にもさまざまなことを学んでいかなければならないと感じた。

(2) 労働安全衛生について

参考になった どちらともいえない 参考にならない
27 5 1

- 感想
- ・今まで自分に無かった考え方を教えていただき新鮮だった。
 - ・危険予知、指差し呼称の重要性を再認識した。
 - ・実話交えた講演で、話が面白かった
 - ・KYの実施はしなくてはいけないと思った。
 - ・危険を伴う仕事であると再認識した
 - ・安全に気をつけることは基本であり最も重要であると感じた。
 - ・現場で行うKYについて認識を新たにした。
 - ・気になったことを見て見ぬふりをすることは、絶対にやめようと思った。
 - ・危険についての考え方の基本が分かった。
 - ・KYTは日ごろから注意していけることなので、仕事以外の面でも実施できるようにしたい。
 - ・仕事中は、より安全を考えて行動しようと思います。
 - ・説明が分かりやすかった。
- ・会社の研修でやった内容を復習した感じだった(2名)

(3) 精度の良い測定のために

参考になった どちらともいえない 参考にならない
33 0 0

- 感想
- ・社内OJT、JIS、告示法を読んでいるだけでは良く分からないので、ためになりました。
 - ・サンプリングなど今まで知らなかった基本が学べて勉強になった。
 - ・サンプリングから分析方法、機器の話が聞けてよかった。
分析上の注意点など、有益な情報を得ることができた。
 - ・今後、自分の中で何を目標にしていくかを明確にさせていただき、素晴らしい内容でした。
 - ・全ての内容を、興味深く聞かせていただきました。
 - ・分析業務に対し、取り組む姿勢や注意を払わなければならない点等が、大変勉強になりました。
また、分析者の心得が良く理解できました。
 - ・分析を行った際の精度は大変重要なので、大変参考になった。
 - ・分析を行っていくうえで今後大変参考になると思います。
 - ・実際の作業で活用すべき点が大変多く、参考になった(2名)。
 - ・作業を行う目的、意義を常に念頭において慎重に行う必要性を感じた。
 - ・実務の話が多くためになった。
 - ・サンプリングの重要性が身にしみました(2名)。
 - ・「機器の原理を理解しながら測定すべき」との考えに感銘を受けました。
 - ・機器分析の中にも知らないことがまだあったので、とても勉強になった。
 - ・当たり前のことを面倒がらずにやろうと思った。
 - ・詳しくとても良い資料として、活用させていただきます。
 - ・実務に直接結びつく内容で、とても参考になりました。すぐに活用したいと思うことが大変多かった。
 - ・幅広い話が聞けたのは良かったが、もう少し時間をとってもらいたい(2名)。

3. 教育研修への希望

今後開催してもらいたい内容

- ・分析をする上での基礎知識(統計、数値処理など)
- ・分析業務の内容をもう少し詳しく講義してください(前処理の仕方や反応式、等)
- ・写真つきでよかったが、ビデオによる実演がもっとわかりやすい。
- ・環境アセスメント、環境教育
- ・「精度の良い測定のために」の時間をもっととってください。
- ・資格試験についての講習会

4. 千環協への要望

- ・クロスチェックのサンプル量が少ない。
- ・会費が少し高いかもしれません。

5-2. 平成20年度新任者教育講座を終えて

中外テクノス株式会社

齋藤 学



本研修を受講し、様々な環境問題を解決する第1ステップとして、測定が正確であること、特にサンプリングの重要性について改めて認識しました。測定結果に基づいて客観的な評価を行い、原因を解明し対策を立てるといった対応に繋がっていくことを考えると、測定には大きな責任が伴います。世界中で様々な環境問題が起こっていますが、正確に測定した上で解決策をとるということはすべての問題に共通する基本であると思います。私も今後この仕事に携わっていく上での基本として、「正確な測定」を心がけて知識や技術を身につけていきたいと思っています。

また本講座では技術的な講義だけではなく、関連法規や環境問題への取り組みの歴史に関する講義等を聴き、この仕事の奥の深さを知りました。特に、要因と現象を整理して説明していただいたことで、複雑で多分野にわたる環境問題の全体像をイメージすることができました。

職業としてだけではなく、このような問題を抱える時代に生きる一個人として、世界で起こっていることに対する関心を持ち続けたいと思います。また環境問題を一つ一つの問題としてだけではなく、全体としてどのような関係があるのかを様々な視点から考えていきたいと思っています。

5-3. 平成20年度新任者教育講座を終えて

(株)東京化学分析センター
営業部 平 香津典



今回受講した中では、一番の年長者の受講であったと思います。異業界からの転職で、入社3年が経っていましたが、平成20年新任者教育講座研修に参加させていただきました。

研修では、3年間業務に携わって知識として身につけている箇所は再認識しましたが、まだ、知識不足の部分が、たくさんあることを認識することができました。

そして、環境学の定義にはじまり、国の法規制そしてISOに関する事など、現在社会的に取り上げられていること等、また会社で取り組んでいる事項においても今後の業務に大いに役立つ研修となりました。 今後は、研修で身につけた知識を向上させるように、日々努力を重ね、会社貢献そして社会に貢献できるよう最善を尽くしていきたいと思いません。

ありがとうございました。

以上

(株)東京化学分析センター
河原崎 栄子



新任者教育講座では、環境問題や労働災害、サンプリングの重要性、分析方法など色々な話を聞くことができました。どのような仕事でも災害の原因は人的原因が最も多いと知りました。私達の業務ではデータの間違いなども考えられると思います。これからも講座内容を忘れず、自分自身が原因を作ることの無いよう常に意識しながら確認、機器管理など努めていきたいと思いません。

以上

(株)東京化学分析センター

中村 理沙



新任者教育講座を受講した事により、環境分析技術者として必要な基礎知識を学ぶ事が出来て、大変勉強になりました。自分の測定した結果がとても大きな影響を与える事になってしまうので、精度のよい測定を行い、お客様に満足してもらえるような結果が出せるようにこの講座で学んだ事を今後の仕事に生かして行ければ良いと思っています。また、今まで以上にプロとしての自覚を持って仕事に取り組み日々勉強しようと思えました。このような機会があればぜひまた参加したいと思えます。

(株)東京化学分析センター

鈴木 典子



今回の研修で、日々の業務の中で実際に使われている事、考え方など分析の基礎的な部分から幅広く学ぶことができました。環境計量の仕事は、本当に幅広く、お客様の要求も多種多様であり、それに応えるには、専門的技術、知識が必要であると改めて思いました。

特に営業部としてお客様の問い合わせに少しでもお答えできるよう、今回頂いた研修資料を日々の業務のなかで参考にして活かしていきたいと思えます。改めて自分の反省ともなり非常に有意義な研修でした。

5-4. 平成20年度新任者教育講座を終えて

株式会社ユーベック

中井 広樹



今回の研修を終えて一番印象に残っていることは環境計量という仕事の難しさだと思います。現在の地球環境の状態を知ることが、これからの地球環境を守るために大切なことですが、その環境の状態を知ることがこれほど難しいことだとは、今までは意識していませんでした。例えば、河川の水質を分析するときを考えてみると、河川の水の状態は川の両端で全く同じとは限らないし、天候によっても左右されます。そういった一定でないものを知ることは本当に難しいものだと思います。分析の正確さも大切だけれど、知りたい場所を最もよく示している試料をサンプリングすることが、いかに大切かということを実感しました。環境計量という仕事は、環境問題に取り組むための原点となっている重要な仕事であるし、環境分析の対象である試料が正しいものでなければ、環境問題にうまく取り組んでいくことができなくなると思うので、サンプリング一つをとってもしっかりとしていかなければならないと思いました。

正しいサンプリングが行われれば、次に大切な作業として分析があります。分析は分析機器を使用して行いますが、分析機器の使い方さえ分かればだれでもできる作業です。しかし、今回の研修で分析機器をただ使えるだけでなく、それぞれの分析機器の特徴や原理を知っていることが重要だとわかりました。学生のときには考えたことはなかったけれど、今後はまず自分が使う分機器をはじめとして、なぜこの分析機器が選ばれたのかということや、試料の前処理では試薬を加えることでどのようなことが起こっているのかということまで理解できるようにしっかりと勉強していきたいと思いました。

今後、一人前の分析者になるためには勉強をすることはもちろんですが、いろんな環境をもっとよく知ることが大切なことだと思います。それゆえ、この研修で学んだことを忘れずに、これから先、いろんな現場で経験することをひとつひとつしっかりと身につけていくとともに、ひとつのことに集中するだけでなく幅広い知識を身につけることで、これからの地球環境のために働くことのできる分析屋になりたいと思います。

以上

6. 平成20年度研修見学会

- 1 日時 平成20年10月3日 (金)
 2 集合場所、時間 千葉駅前大通り 三越前付近 7:45
 3 出発 8:00 (千葉駅周辺地図添付)
 4 行く先 (1) 東京臨海リサイクルパワー株式会社
 (東京電力グループ)
 (2) 東京ベイ有明ワシントンホテル
 ジョージタウン 昼食 (バイキング)
 (3) サッポロビール千葉工場

5 概略予定時刻

千葉三越前集合 7:45 → 出発 8:00 → 東京臨海リサイクルパワー
 (10:00~12:00) → 有明ワシントンホテル (13:00~14:00)
 → サッポロビール (15:00~16:00) → 千葉駅前解散 17:00

参加者名簿

No.	会 員 名	参加者名
1	出光興産(株)先進技術研究所 出光テクノリサーチ	松田 聡
2	(株)環境管理センター	木下 慎
3	キッコーマン(株)	戸邊光一郎
4	キッコーマン(株)	榊原 達哉
5	習和産業(株)	一色 美絵
6	習和産業(株)	滝口 雅子
7	(株)住化分析センター	村上 高行
8	(株)太平洋コンサルタント	神津 勝信
9	財団法人千葉県環境財団	木内 敏之
10	財団法人薬剤師会検査センター	藤井 則昭
11	財団法人薬剤師会検査センター	田中 清弘
12	中外テクノス(株)	高田 義之
13	(株)中研コンサルタント	神田 彰久
14	(株)東海地質	初瀬川ひろ美
15	東電環境エンジニアリング(株)	松本 崇
16	東電環境エンジニアリング(株)	長澤 俊樹
17	東電環境エンジニアリング(株)	福本 雅志
18	(株)ユーベック	真鍋 絵理
19	(株)ユーベック	松尾かんな

6-1. 平成20年度千葉県環境計量協会研修見学会を振り返って

千環協・教育企画委員長
戸邊光一郎

1. 研修先 東京臨海リサイクルパワー株式会社 (TRF)
施設名称 : スーパーエコプラント
住所 : 〒135-0064 東京都江東区青海2丁目地先
TEL : 03-6327-3190 FAX : 03-5500-1088

(1) 施設の概要

- 1) 設立 平成14年12月19日(2002年)
- 2) 敷地面積 2.9ヘクタール(東京都より購入)
- 3) 資本金 46億円
- 4) 従業員数 51名(平成20年10月3日現在)
24名の2交代制 5名/班で編成
- 5) 事業内容 産業廃棄物処理業、特別管理産業廃棄物処理業
ガス化熔融施設等から生じる電力の販売等
- 6) 出資者 東京電力(株) : 73%、(株)荏原製作所 : 12%、
東電環境エンジニアリング(株) : 7%
清水建設(株) : 5%、オリックス環境株式会社 : 3%
- 7) 許可品目 感染性廃棄物、廃プラスチック類、紙くず、木くず、
繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、廃酸(容器入り)、廃アルカリ(容器入り)、動植物性残渣(容器入り)ばいじん、燃え殻、鉍さい、汚泥(脱水後のもの、容器入り)
- 8) 処理設備 産業廃棄物
流動床ガス化熔融炉 275t/日×2系列
感染性医療廃棄物 専用焼却炉 50t/日×2系列
- 9) 発電能力 23,000kw
- 10) 処理能力 産業廃棄物 550t/日
感染性医療廃棄物 50t/日

(2) 施設の特徴

- ①ほぼ全ての廃棄物を扱っているが、廃油は扱っていない。
- ②埋め立てゼロを目指した処理施設を目標にしている。
(現在は容積として100%→2.5%)。
- ③スラグはすべて建設資材会社へ売却。道路の舗装などに使用。鉄・アルミは金属卸売会社に売却。不燃物・飛灰・焼却灰は最終処分場へ。
- ④廃棄物の成分としては、塩素含量2%以下(塩ビの量を制限)、硫黄含量1%以下不燃物は20%以下のものを対象としている。

- ⑤ダイオキシンの分析は2回/年行っている。
- ⑥医療系のゴミは冷蔵自動倉庫（10℃）に保管している。焼却困難な医療廃棄物に対して完全燃焼・完全滅菌を経済的に可能にしたバーチカル炉を採用。医療廃棄物の処理設備は50t/日×2系列有しているが、現在は1系列のみで対応し、都内の医療廃棄物の2/3を処理している。（他の1基は不測の事態に備えている）
- ⑦ゴミから電気を発電23,000kw。場内で6,000kwを使用し、残り17,000kwは東京電力㈱に売却（55,000世帯分に相当）。
- ⑧施設のメンテナンスに要する日数は、50日/年。
- ⑨経済産業省より「新エネルギー等発電設備（RPS）」に認定。バイオマス発電。（認定番号B000877C13）
- ⑩経済的かつ効率的に廃棄物管理が行えるシステムを開発。（TRP式廃棄物管理システム、電子マネー採用）

2. 研修先 サッポロビール千葉工場
 住所 〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町2番
 TEL : 047-437-3591

(1) 施設の概要

敷地面積	17万2,000㎡
緑地面積	4万8,900㎡
竣工	1988年6月20日
従業員数	120人 三交代勤務

(2) 施設の特徴

- ①ビールの原料は、麦芽・ホップ・水。麦芽とホップは100%協働契約栽培である。水は「磨き上げられた水」と称し、膜処理やイオン交換処理を行っている。
- ②工場で発生する廃棄物・副産物は100%資源化されゴミゼロを達成している。麦汁を製造した後に残る麦芽の皮などは飼料や肥料に、破損したビール瓶は製びん原料に再利用される。
- ③工場廃水は嫌気発酵による排水処理で浄化すると、副産物のバイオガスを回収することができる。このガスを工場内の燃料として再利用している（2,500軒の家庭で使用する年間のガス量に相当）。
- ④2000年に太陽光発電装置を設置し、得られた電力はビール製造に使用している（発電状況を表示板で表示）。

余談 「ビールのうまい飲み方」

- ①飲み頃の温度は6～8℃。夏はやや低め、冬はやや高めに。
- ②グラスは洗剤で丁寧に洗い、よくすすぎ、逆さに伏せて自然乾燥。
- ③グラスの形状は、グラスの口径と高さの比1：2がベスト。
- ④ビールの注ぎ方は、はじめは少し勢いよく、泡が立ったらいったんストップ。次に泡を持ち上げるようにゆっくり注ぎ、最後は静かに

泡を縁から盛り上げるように注いでフィニッシュ。グラスの30%が泡になるのがベスト。

⑤泡を上唇で押さえて、ビールだけをノドに流し込むように飲む。

3. 感想

本年度の研修見学会は都内の施設での研修ということで、参加人数、道路の渋滞等、当日のスケジュールに一抹の不安を感じながらの実施となりましたが、皆様からの多大なる協力を賜り、ほぼ予定通り挙行できたことに感謝いたします。また研修先を決定するに際しましては、本年度より千環協の会長に就任された東電環境エンジニアリング株式会社の武藤様には多大なるご尽力を賜り深く感謝いたします。

今後も皆様が喜んで参加でき、そして有益な研修見学会にできるよう最善を尽くしたいと思っております。有難うございました。



東京臨海リサイクルパワー株式会社（TRF）での研修



東京臨海リサイクルパワー株式会社 (TRF) 工場見学 (玄関前)



サッポロビール千葉工場

6-2. 研修見学会の感想

財団法人 千葉県環境財団
環境技術部 環境計量グループ 特定計量チーム
木内 敏之

私の所属する財団法人千葉県環境財団は、自然環境の保全、再生及び活用のための事業を行なうとともに、大気汚染、水質汚濁等の公害の発生を防止し、環境保全に関する調査研究及び知識の普及啓発を図り、健康にして豊かな郷土の建設に寄与することを目的としています。具体的には、環境調査分析等事業として調査・分析事業（水質、大気、土壌・産業廃棄物等の分析及び騒音・振動・悪臭調査）、飲料水水質検査、環境影響評価、地質環境・自然環境調査事業、大気環境監視測定局保守管理事業及び産業廃棄物処理事業を行っています。また、環境活動推進事業として、各種講座（エコマインド養成講座、スキルアップ講座、県民環境講座等）の実施、千葉県地球温暖化防止活動推進センターの運営及びエコアクション21地域事務局としての活動並びに「ちば環境再生基金」の造成と運営などを行っています。

私は財団法人千葉県環境財団で特定計量チームに所属しダイオキシンの分析を行っています。今回、研修見学会に参加させていただき、普段は会うことの少ない他社の環境分析に携わる人たちとの交流が持て、とても有意義な時間を過ごすことができました。特に、同じダイオキシンの分析に携わる方と知り合うことができ、情報交換ができ仕事にも生かすことができました。

また、研修会では東電リサイクルパワー株式会社のスーパーエコプラントを見学させていただき、最新の産業廃棄物処理技術を学ぶことができました。午後に訪れたサッポロビール工場では、ビールの製造ラインを見学し、最後にできたてのビールを試飲することができました。普段何気なく飲んでいるビールがどのようにして製造されているのかわかり、非常に興味深く見学させていただきました。ただし、試飲時間が短かったのだけが残念でした。

今回の研修では普段訪れる機会の少ない施設の見学が行え、また、同業他社の人たちの交流を通して貴重な情報を得ることができとても収穫の多い研修会となりました。

6-3. 千葉県環境計量協会 研修見学会へ参加して

(財) 千葉県薬剤師会検査センター
藤井 則昭 ・ 田中 清弘

平成20年10月3日に開催された研修見学会へ出席させていただきました。途中の渋滞もなく、順調に最初の見学先である東京臨海リサイクルパワー株式会社様へ到着し、説明をいただいた後、施設の見学をさせていただきました。立地が非常によいこと（江東 お台場、大井等各方面からのアクセスがよいこと）や、処理している廃棄物の種類（建築系、医療系、また個人情報保護に関するもの等）や、それぞれの種類よる搬入への問題点等、詳細な説明をいただき、廃棄物を排出する業者としても参考になりました。また廃棄物を集めるためのコストの問題も参考になりました。

昼食後、船橋のサッポロビール千葉工場を見学させていただきました。自動化され、人が少ないことと品質へのこだわりを強く感じました。

お世話いただいた担当委員の皆様ありがとうございました。

私どもは、今年から加入させていただいたこともあり、少しスペースをいただき弊センターの紹介をさせていただきます。

団体名 財団法人 千葉県薬剤師会検査センター

施設は、本部 環境関係の分析 千葉市中央区中央港1-12-11

(JR京葉線 千葉みなと駅から徒歩6~7分)

緑の森研究施設 超微量物質と食品関係

千葉市緑区大野台2-3-36

(JR外房線 土気駅からバス10分)

その他 中央区出洲港に検査施設があります。

～よりよい地球を未来へ～をテーマに、今年で創立35周年を迎えることができました。

どうかご指導よろしくお願いいたします。

～よりよい地球を未来へ～

(財) 千葉県薬剤師会検査センター

〒260-0024 千葉市中央区中央港1-12-11

担当 業務部 藤井 田中 043(242)3833

URL <http://www.chiba-kensacenter.or.jp>

6-4. 千葉県環境計量協会研修会 感想

株式会社 ユーベック
技術部品品質保証課 真鍋 絵理

このたびは、このような研修会に参加させていただきありがとうございました。

東京臨海リサイクルパワーの見学では、膨大な量の産業廃棄物や医療廃棄物を処理し、副産物として排出されるスラグや金属を再利用するという循環型社会に向けたリサイクルを拝見しました。さまざまな工程を経て、ごみのごみでなくなるまでの過程には有害なガスなども排出されますが、エコプラントでは発生した有害排出物の処理についても徹底していて、法規制よりも厳しい自己規制値を設定し、それをきちんとクリアするという環境への配慮もされていました。

また、環境教育にも力を入れており、そのためにつくられた展望台からは東京湾や埋立地を見渡すことができました。しかし、ここで見たごみ埋立地最終処分場の狭さには驚きを隠せませんでした。エコが叫ばれ、いくらごみの削減をすすめても、ごみがなくならない限り増え続け、すぐにいっぱいになってしまうことでしょう。埋め立てよりもコストがかかることもあり、まだ全てのごみを委託されるにはいたっていないとのお話がありましたが、ゆくゆくはこのようなエコプラントが増え、環境に配慮した形でごみを処理していかなければならないと思いました。

技術部技術課 松尾 かな

サッポロビール千葉工場。広い敷地に多くの木々が植えられており、見た目は工場という様子ではなかったです(『工場』ということで、もっと殺伐としているのだと想像していました★)。一番印象に残ったのはやはりビールの試飲。とてもおいしく頂きました。今まで工場見学をされた方の中で一番多く飲まれた方は 7、8 杯ということに驚きましたが、それ以上に今回のメンバーのできあがり具合にも驚きました。みなさん、ビールがお好きなようです☆大盛り上がりでした。

そのほか、ホップや麦を頂いたことが印象に残っています。ホップは初めて見、初めて食べました。どことなくフルーティーな香りがし、これがビールの原料になるとは・・・と思いました。また、ビールびんを製造ラインで見ることができました。実際に私たちが使用するびんはこういう工程を経て手に入るものなのだ実感しました。びんに関しては高い回収率を有しているということなので、他社との協力等、大きな努力をしているのだと思います。環境に優しいという印象を持ちました。

今回、このような研修に参加させて頂き、とてもうれしく思います。千葉県環境計量協会様には厚く御礼申し上げます。

7. 第46回千環協ゴルフコンペ

7-1. 第46回千環協ゴルフコンペ開催報告

幹事：日本環境株式会社
鈴木 広美

歴史ある千環協ゴルフコンペの今回の舞台は香取郡神崎町にある神崎カントリー倶楽部にて、総勢10名により開催されました。当日は、晴天、微風と絶好のゴルフ日和の中白熱した戦いが繰り広げられました。

その結果、優勝者は青木さん(㈱環境管理センター)、2位に私こと鈴木(日本環境㈱)、3位に当千環協会長の武藤さん(東電環境エンジニアリング㈱)が入りました。

当日は、好プレー・珍プレー等が随所に見られ楽しい1日でした。是非次回コンペには多数の方々のご参加を期待しております。

珍プレー・好プレーを自分の目で確かめてください。(百聞は一見にしかずですよ～)

成績は以下のとおりです。

成 績 表

順位	競技者名	グロス	ハンデ	ネット
優勝	青木 鉄雄 (㈱環境管理センター)	104	27.6	76.4
2位	鈴木 広美 (日本環境㈱)	106	27.6	78.4
3位	武藤 敏夫 (東電環境エンジニアリング㈱)	102	22.8	79.2
4位	相馬 顕紀 (クリタ分析センター㈱)	112	32.4	79.6
5位	松倉 達夫 (㈱日本公害管理センター)	102	21.6	80.4

(敬称略)

〈 第46回千環協ゴルフコンペ詳細 〉

開催日：平成20年 6月 7日(土)

会場：神崎カントリー倶楽部

〈 始球式 〉



〈 集合写真 〉



7-2. 第46回千環協ゴルフコンペに優勝して

(株)環境管理センター
青木 鉄雄

6月にしては暑い日のゴルフコンペでした。

神崎カントリー倶楽部は初めてのコースで、車のナビに入っていた地図通りに行ったのですが近くまで来てから入口がわからず集合時間のぎりぎりに到着しました。

朝からドタバタして今日のゴルフは駄目かな～とっていました。

案の定、ゴルフは一緒に回った人達と楽しくプレーは出来たのですが、スコアはあまり良くありませんでした。

コンペ終了後、成績発表があった時、7位（優勝と7位が次回幹事）でなかったのが喜んでいましたが、何と優勝と言われてびっくりしました。

千環協に戻ってきて3回のコンペに参加しましたが3回中、2回も優勝するとは・・・

しかも、両方ともスコアはあまり良くないのに・・・

ホール毎のスコアが波のある私にはシンペリのハンデ戦があっているのかもしれない。（他のコンペでもシンペリは優勝がたびたびありました）

優勝商品は自分で選べる商品でしたので北海道産のロースハムの詰め合わせを注文して美味しく頂きました。

色々と企画してくださった幹事の鈴木さん、宮本さんに感謝します。ありがとうございました。

次回にコンペは11月か12月の初めに行いますので会員の皆様には出来るだけ多くの参加がありますようお願い申し上げます。



8. 第26回千環協ソフトボール大会

千葉県環境計量協会
総務委員長 荒木 徹

毎年恒例になっておりますソフトボール大会は、本年度で26回目を数える形になります。昨年と同じく稲毛海浜公園・スポーツ施設野球場において、9月20日（土）に計13チームの参加を持って開催する予定でしたが、折からの台風13号接近による影響懸念と、前日までに雨が上がったとしてもその影響がグラウンド（土）にも残ってしまうという施設側のアドバイスもあり、誠に残念ながら中止の判断に至りました。

開催日当日を狙うかのように、早朝房総沖をかすめて行った影響で夜半までの雨も日中には上がり、天気も好転してきただけに、悔しく感じた人も多かったのではないのでしょうか。楽しみにしていた各チームの方々には大変申し訳なく感じております。

当日の参加申し込みチームは以下の13チームで、例年通りのトーナメント戦を実施する予定でございました。

- イカリ消毒株式会社
- 株式会社上総環境調査センター
- 株式会社環境管理センター
- 習和産業株式会社
- JFEテクノリサーチ株式会社
- 株式会社住化分析センター
- セイコーアイ・テクノリサーチ株式会社
- 株式会社太平洋コンサルタント
- 株式会社ダイワ
- 東電環境エンジニアリング株式会社
- 日鉄環境エンジニアリング株式会社
- 日本環境株式会社
- 株式会社コスモス

（50音順）

今年も大会を盛り上げるため、グラウンド予約、保険・賞品等の準備や手配、組み合わせ表作成、申し込み受付など大会運営に関わる様々な手配・準備に奔走、ご尽力を総務委員ならびに関係者の方々に行って頂きました。皆さん、大変ご苦労様でした。また、ご協力を誠に有り難うございました。

今年は残念な決断となりましたが、来年こそは、数多くの参加チームの皆さんと一緒に楽しみたいと思います。千環協会員相互のコミュニケーションを図るイベントの一つとして活用頂くよう、多くの会員皆様からの参加申し込みを引き続きお待ち申し上げます。

9. 第6回経営者交流会開催報告

(2008年10月17日)

経営・業務委員長 綾田隆史

今年の経営者交流会は、昨年度に引き続き、職員の健康課題としての生活習慣病およびメンタルヘルスについて外部講師による講演を開催しました。また、千環協会員を対象に企業活動にかかわる登録許可および社員の資格取得および育成の状況についてアンケートを実施、38社より回答をいただき、その結果を集計して報告いたしました。

講師

財団法人 君津健康センター	山瀧 一 様
---------------	--------

来賓

社団法人 日本環境測定分析協会	岡崎 成美 様
-----------------	---------

参加会員

No.	会 員 名	出 席 者 名
1	(株) 環境管理センター	青木鉄雄
2		吉本 優
3	キッコーマン(株)分析センター	戸邊 光一朗
4	習和産業 (株)	津上 昌平
5	(株) 住化分析センター	村上 高行
6	住鋳テクノリサーチ (株)	佐々木 公司
7	(株) 太平洋コンサルタント	綾田 隆史
8	中外テクノス (株) 環境技術センター	甘崎 恭徳
9		齋藤 健
10	(財) 千葉県薬剤師会検査センター	吉野 俊行
11	東電環境エンジニアリング (株)	武藤 敏夫
12	日鉄環境エンジニアリング (株)	内野 洋之
13	(株) 日曹分析センター 千葉事業所	高嶋 一英
14	日建環境テクノス(株)	丸山 孝彦
15	(株) 日本公害管理センター	松倉 達夫

9-1. 登録許可および社員の資格取得・育成に関するアンケート集計結果報告

経営・業務委員会

アンケートの目的

- ①事業資格の表示範囲を広げることは会社自体の差別化につながり外部へPRする有効な手段となるため、今後の登録許可を検討する上で参考資料となる。
- ②資格取得は社員個人のみならず会社全体のレベルアップにつながる。今後、社員を育成するために、どのような資格が適切か検討する基礎資料とする。

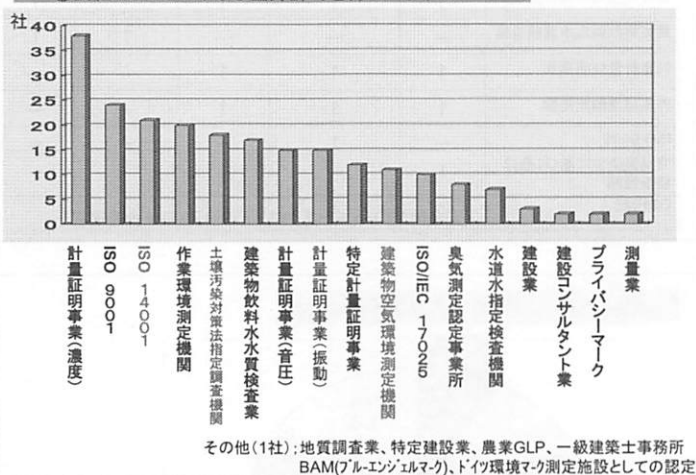
主な内容

- (1)登録許可に関して
- (2)ISO/IEC 17025試験所認定に関して
- (3)社員の資格取得・育成に関して

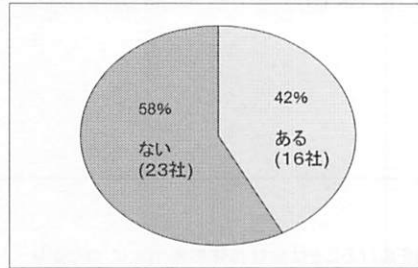
アンケートをお願いした会社数: 64社(千環協会員)
 募集から回収までの期間 : 平成20年7月15日～8月18日
 回答していただいた会社数 : 38社

(1)登録許可に関して

①会社としてどのような登録許可を得ていますか



②今後、取得したい登録はありますか



③あると回答された場合、その登録名称は何ですか

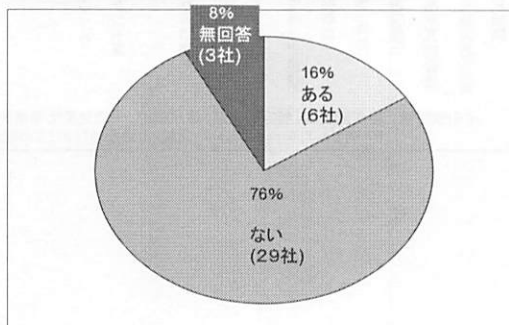
- 5社: ISO/IEC 17025、水道水指定検査機関、臭気測定認定事業所
- 3社: 土壌汚染対策法指定調査機関
- 2社: ISO 14001、建築物空気環境測定機関
- 1社: 建築物飲料水水質検査業、特定計量証明事業、作業環境測定機関
- ISO 9001、食品衛生法に基づく登録検査機関
- 労働安全衛生マネジメントシステム (OSHMS)

④取得したい登録があると回答された場合、その理由は何ですか

単位: 社

	業務遂行のため必須	会社のイメージアップにつながる	現状、受注に役立つ	将来、役立つから	業務範囲の拡大
ISO/IEC 17025	2	3	4	1	—
水道水指定検査機関	4	2	3	2	1
臭気測定認定事業所	2	1	4	1	1
土対法指定調査機関	2	1	2	1	1
ISO 14001	—	2	—	—	—
建築物空気環境測定機関	1	1	1	1	1
建築物飲料水水質検査業	—	—	—	1	1
特定計量証明事業	1	1	1	—	—
作業環境測定機関	1	1	1	—	—
ISO 9001	—	1	—	—	—
食品衛生法に基づく登録検査機関	1	—	—	—	—
OSHMS	(安全衛生のレベルアップ、マネジメントシステムの統合的運営)				

⑤取得したが、有効でない登録はありましたか



⑥あると回答された場合、その登録名称は何ですか

- 2社: ISO 14001
- 1社: 土壌汚染対策法指定調査機関、ISO/IEC 17025
- ISO 9001、特定計量証明事業、無回答

⑦あると回答された場合、その理由は何ですか

単位:社

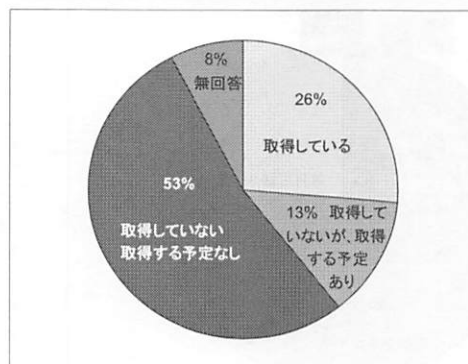
	更新に費用、 手間がかかる	受注に役立つ ていない	計量証明事業(濃度) で十分代替できる	その他
ISO 14001	2	2	—	—
土対法指定 調査機関	—	—	1	—
ISO/IEC 17025	1	1	—	—
ISO 9001	1	1	—	—
特定計量 証明事業	1	—	—	—
無回答	—	—	—	1

(2)ISO/IEC 17025試験所認定に関して

①取得している場合、その分野は何ですか

- ・試験対象分野 — 環境、飲料水
- ・試験技術分野 — ICP(誘導結合高周波プラズマ)
ガスクロマトグラフ質量分析
- ・光触媒材料窒素化合物除去試験
- ・抗菌性試験
- ・材料試験
- ・大気中のダイオキシン類
- ・土壌(環告46号)
- ・環境
- ・骨材試験(2社)
- ・レディミクストコンクリート試験
- ・石灰・セメント・ガラス化学分析試験
- ・コンクリート・セメント等無機系材料強度試験
- ・排水中の金属類の分析・試験 Pb、Cd、Cr⁶⁺、Hg
- ・有害物質の分析(RoHS関連)
- ・鉄鋼分析
- ・ダイオキシン類
- ・水又は土壌中のダイオキシン類
- ・酒類の4金属分析
- ・セメント・混和剤(材)試験
- ・湿式重量・原料・残分・灰分試験
- ・イオン電極分析
- ・コンクリート試験

②取得していない場合、取得する予定はありますか

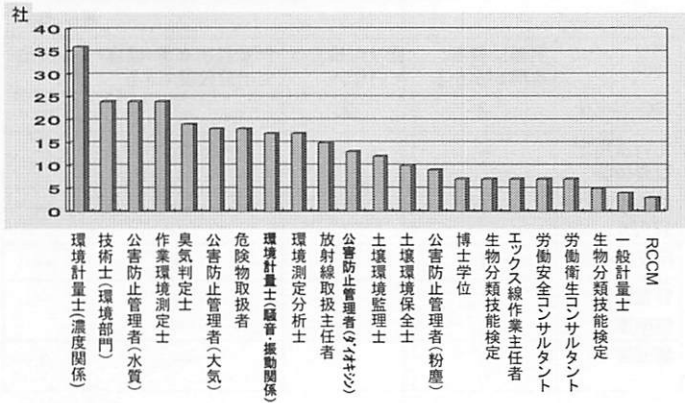


③取得する予定がある場合、それは何ですか

金属類(RoHS / WEEE)、有機物、金属(2社)、検討中(環境分析)、検討中

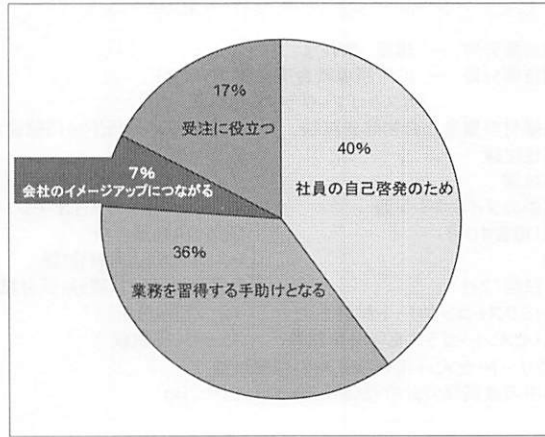
③社員の資格取得・育成に関して

①社員に取得して欲しい資格は何ですか

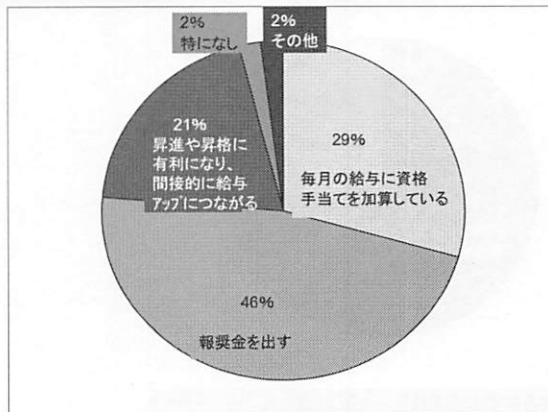


その他(1社):分析技能士、毒物劇物取扱責任者、土木施工管理技師、測量士、システムアドミニストレータ、実用英語技能検定、TOEIC、技術士(建設部門)、エネルギー管理士(熱)(電気)、建築物環境衛生技術者

②資格を取得させる理由は何ですか

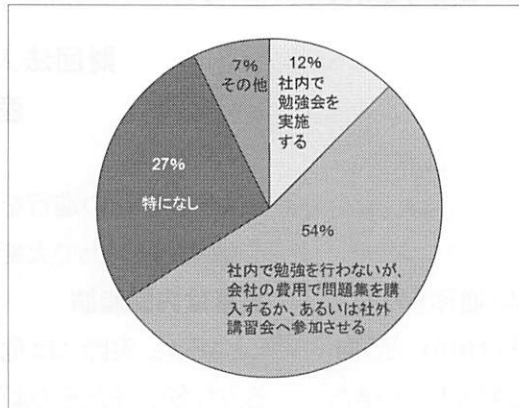


③資格取得の場合、金銭面で優遇していますか



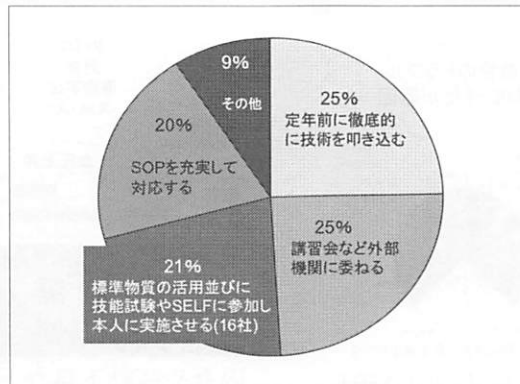
その他:講習会などへの費用負担

④資格取得のための教育はどのように行っていますか



その他: 勉強しやすい環境の整備、受験費用会社負担、など

⑤ベテラン技術者の定年に伴う若手技術者の育成はどうしていますか



その他: 事業所間の技術交流会、定年前に次期担当者を育成するよう常に配慮している、日常の教育訓練及び引継ぎで技術伝承している、OJT中心、伝承の仕組みはできていない、など

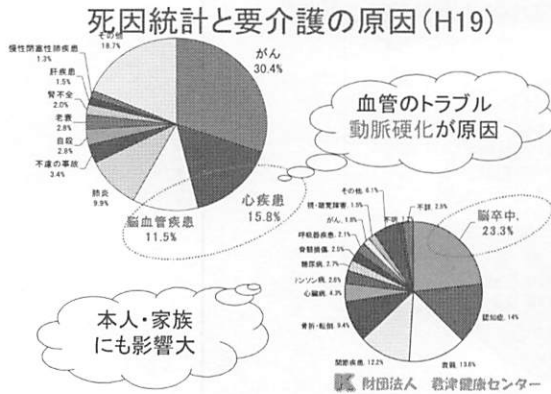
9-2. 生活習慣病および心の健康について

財団法人 君津健康センター
産業保健部 山瀧 一

1. 生活習慣病について ～メタボと動脈硬化～

近年、メタボリックシンドローム(通称メタボ)が話題となっています。メタボとは何か、どう向かい合ったらよいかについてご紹介していきたいと思います。

怖い動脈硬化



平成 19 年の死因統計によると、最大の死因は「がん」で 30.4%、次いで、心臓病(15.8%)、脳卒中(11.5%)という順位です。うち、二位・三位の心臓病・脳卒中はほとんどが動脈硬化によって起こっています。見方を変えれば、動脈硬化ががんに匹敵する死因ともいえます。

また、要介護の原因の第一位は脳卒中です。このように、動脈硬化が我々の生命や生活の質に暗い影を落としています。

動脈硬化の危険因子

これまでの研究から、動脈硬化の危険因子として以下が挙げられています。

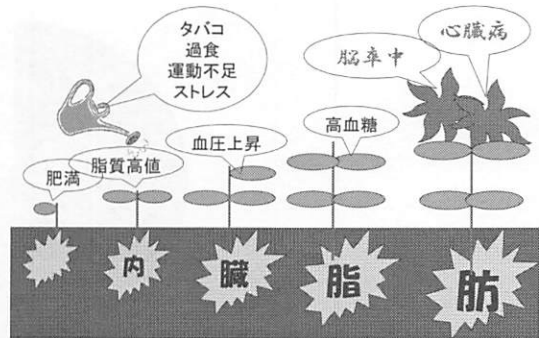
- 糖尿病(高血糖を含む)
- 高血圧
- 高脂血症

まずこれらの持病を健診で発見し治療するこ

とは動脈硬化の進行を止め、将来の脳卒中や心臓病を防ぐ上で大変重要です。

黒幕は内臓脂肪

ところが、実際には危険因子を重ね持っている方も多く、またそのような場合、特に脳卒中や心臓病のリスクが高いという事実があります。そして、その背後に内臓脂肪という黒幕の存在が指摘されるようになってきました。



過食や運動不足など生活習慣の問題により内臓脂肪が増加すると、ここからさまざまな物質が放出され、これらが高血圧、高血糖、脂質代謝異常を起こすなど、動脈硬化を進行させ、脳卒中や心臓病の危険を高めることが明らかとなってきています。

メタボリックシンドローム

このように内臓脂肪の蓄積が体に複数の異常を引き起こしている状態を「メタボリックシンドローム」と呼び、以下の基準で診断します。

単に腹囲だけで診断するわけではないことにご注意下さい。

- へそ周り 男性 85cm 女性 90cm 以上
- 加えて以下のうち 2 項目
- ※中性脂肪が高い(150mg/dl 以上)
- ※HDL コレステロールが低い(40mg/dl 未満)
- ※血圧が高い(130/85mmHg 以上)
- ※空腹時の血糖値が高い(110mg/dl 以上)
- なお※の項目は治療中のものも含む

内臓脂肪をどうする？

内臓脂肪が生活習慣病を引き起こし、心臓病や脳卒中の危険性を上げているのであれば、内臓脂肪を減らすことで心臓病や脳卒中を防ぐことも可能かも知れません。

幸い、内臓脂肪は物質やエネルギーの出入れが活発であるため、数ヶ月程度の食事・運動の努力で減らすことができます。

内臓脂肪を減らすポイントは

- ・ 食事～エネルギーをとり過ぎない～
 - ・ 運動～エネルギーを使い筋肉を育てる～
- ですが、動脈硬化の防止にはこれらに加えて
- ・ 禁煙、節酒、休養と睡眠
- もたいへん重要です。

食生活～エネルギーをとり過ぎない～

年齢とともに代謝が低下すると必要なエネルギーも少なくなりますが、飽食の時代、エネルギーも摂りすぎとなりがちです。体重の増減で食事の量を調節するのもよい方法でしょう。

一方で、「体に良いものを」と意気込むあまり、いろいろなものをたくさん摂りすぎて体重を増やしてしまう方もいます。バランスよく適量摂ることが大切です。

運動～エネルギーを使い筋肉を育てる～

運動でエネルギーを消費できるほか、筋力を高めてよりエネルギーを消費しやすい体に改造することができます。逆に運動をせず摂取エネルギーを減らすと、残念ながら筋肉も減ってしまいます。このため代謝が落ち、簡単にリバウンドしてしまいます。

なお、運動に当たっては安全のためにも、準備体操と整理体操を忘れずに行いましょう。

禁煙、節酒、休養と睡眠

たばこは脳卒中や心臓病の重大な危険因子であり、本数が少なくても害は確実に存在します。また「軽いたばこ」はフィルター脇の空気穴



でタール分を希釈する構造のため、実際は穴をふさぎ深く吸い込みがちです。潔く禁煙するのが最善の方法です。

一日のアルコール摂取量が日本酒にして1合未満の方は最も死亡率が低いという報告があります。このあたりが適量と言えましょう(飲めない方が無理に飲む必要はありません)。

休養やストレスに関しては、ストレスを感じやすいタイプに心筋梗塞が多い、また睡眠不足が続くと心筋梗塞が増加するという報告もあります。睡眠と休養の確保も重要です。

“脱メタボ”大作戦

安全に、無理なく続けていくことが何より重要です。まずは大目標を立ててみましょう。

【例】**三ヶ月で腹囲を3cm減らしたい**

〈ステップ1〉 腹囲1cm減は体重1kg減と同等です。内臓脂肪1kgは7000kcalのエネルギーに相当するため、例では21000kcal/3ヶ月、1日233kcal分を食事と運動で減らします。

〈ステップ2〉 運動によるエネルギー消費増と食事による摂取カロリー減の両方を合わせて計画し、具体的な目標にします。

食事: 缶ビール1本減 ⇒ これで144kcal減

運動: 早足歩行30分 ⇒ これで100kcal消費

〈ステップ3〉 できた/できないで評価できるような具体的な目標と簡単なコメント(言い訳欄)、体重や腹囲欄を作って取組みを記録します。

日付	2月1日	2月2日	2月3日
体重(kg)	74.4	74.2	74.5
腹囲(cm)	85.5	85	86
血圧(mmHg)	130/82	134/90	140/88
目標1 毎日30分以上歩く	○	○	×
目標2 コーヒーはブラック	○	△	○
目標3 お酒は1台まで	○	○	×
コメント	頑張ってた。	来客ありついつられて砂糖を入れた。	忙しくてストレスもたまつた。つい飲みすぎた。

少しでも「できた」という経験が重なると楽しくなってくるはず。ぜひお試しください。

2. メンタルヘルスについて

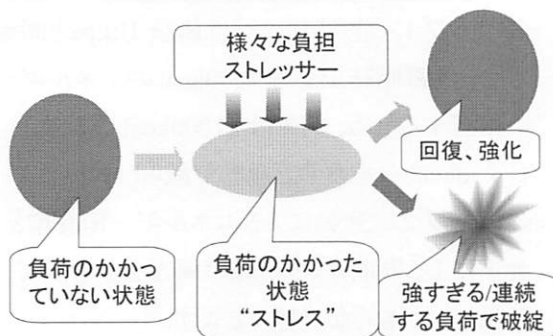
～職場において注意すべきこと～

自殺者は3万人を超える状態が続いています。また企業での長期休業の原因として、メンタルヘルス上の問題が最多を占めています。過労うつをめぐり労災認定や企業の安全健康配慮義務違反を問う訴訟も起きています。

一方、国際競争の激化、雇用の流動化、成果主義の導入などにより、「強いストレスを感じている労働者が6割以上(厚労省調べ)」など職場でのストレスは強まっています。

ストレスとストレッサー

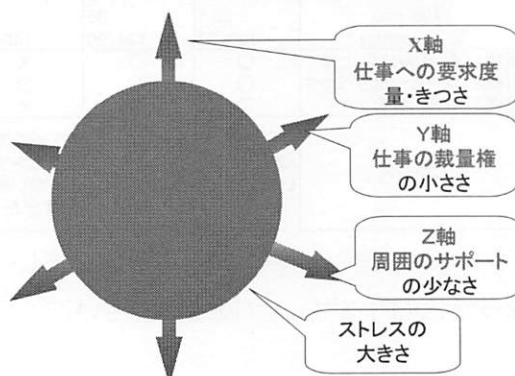
ストレスの本来の意味は「刺激(ストレッサー)によって生体を受ける変化」のことを示します。しかし現在では両方をあわせて「ストレス」と呼ぶことが多くなっています。



ストレスは全て悪いものではなく、「適度のストレスは人生のスパイス」とも言われます。しかし極端に強い、または長く持続するようなストレスは生体に悪影響を及ぼします。

職場におけるストレス

職場におけるストレスの強さを規定する因子



として、三つが指摘されています。

- ・ 仕事に対する要求度(量や質)
- ・ 仕事に対する裁量度
- ・ 職場などから受ける支援

職場においてストレス状況を把握し改善に取り組む上で、「職業性ストレス簡易調査票」¹を活用するのも一つの方法です。

自殺について

自殺に至った例を検討したところ、その多くに精神疾患(最多はうつ、アルコール依存症も多い)が認められ、大多数は適切な治療を受けていなかったことが明らかとなっています。

自殺については「自殺未遂者はもう自殺しない」「死にたいとっている人は死なない」などと信じられていますが、これらはいずれも危険な兆候であるため早めに専門医の治療につなげる必要があります。

うつについて

うつは自殺の原因として大きな割合を占めています。従来、「気の持ちよう」などと誤解を受けていた面もありましたが、今日ではさまざまな外部からのストレスと本人の素因などから脳内の神経伝達物質が働かなくなるために生じる、脳の機能の低下であることが明らかとなっています。

うつは決して珍しい病気ではなく、100人中3～5人、生涯で1～2割がかかるといわれています。また、治療により治す(≒日常生活が可能になる)ことが可能となっています。治療の三本柱は専門医のよとの通院と抗うつ薬内服、本人が安心できる慣れた環境での休養です。

¹ 東京医大公衆衛生学教室サイトより利用可
<http://www.tokyo-med.ac.jp/ph/ts/sutoresutyousahyou.htm>

うつの症状

うつの中心的な症状は「気分の落ち込み・憂うつ感の持続」「興味を持つ・喜びを感じることができなくなる」と言われています。

このほか脳の機能が低下することから、判断

- ・ 特に午前中に目立つ不調
- ・ 出勤が以前より遅い、または極端に早い
- ・ 寝不足の様子
- ・ 食欲の低下、時にやせ
- ・ 楽しむ/興味を持つことが乏しくなる
- ・ 仕事の能率が低下し、ミスも目立つ
- ・ 仕事がさばけず、残業も増
- ・ 新たな仕事への意欲や問題解決力低下
- ・ 自信喪失や罪悪感、辞意をもらすなど
- ・ 様々な身体の不調

力や思考力の低下、不眠や食欲不振などのほか、さまざまな身体の不調として症状が現れる場合もあります。また、特徴として午前中には症状がより強く現れる傾向があります。

これらの症状は職場では以下のような現れ方をします。

これらの症状が認められたら、本人の話を良く聞くこと、産業医や保健師・看護師と連携すること、何より早期に専門医のもとでの治療に繋げることが重要です。本人や産業医、主治医などとの相談で業務負荷を軽減する、場合によっては休業することも必要になります。

アルコール依存症

アルコール依存症も自殺の原因として大きな割合を占めているほか、職場でもかなりの割合の患者がいると推定されています。

職場で見られる兆候としては、酒臭い、欠勤・遅刻が多い、トラブル増加・能力低下、また健康状態が悪化する、などが挙げられます。



また問題のある飲酒をチェックする簡単なツールとして、CAGE が挙げられますが、ある調査によると職場では 13% に問題飲酒が認められたとのことです。

【CAGE】2 点以上で問題飲酒ありと判定

- ・ 酒の量を減らさなくてはまずいと思ったことがある
- ・ 自分の飲酒のことでほかの人から批判され、余計なお世話だと内心思ったことがある
- ・ 自分の飲酒のことで気がとがめたことがある
- ・ 気持ちを落ち着かせるために朝起きると真っ先に酒を飲んだことがある、または二日酔いを押さえるために迎え酒をしたことがある

アルコール依存症から脱するには、完全な断酒が必要であり、そのためには専門医のもとでの治療と、断酒会などでの支えあいが必要です。職場でも断酒を強く促す姿勢を示し、治療につなげていくことが必要です。

四つのケアと職場での取り組みについて

厚労省では職場のメンタルヘルスへの取り組みとして、「四つのケア」を打ち出しています。

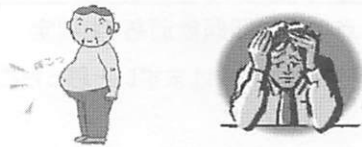
- ・ セルフケア
 - 正しい知識と早期相談・受診など
- ・ ラインによるケア
 - 職場管理者による相談など
- ・ 事業所内スタッフによるケア
 - 産業医、保健師・看護師など
- ・ 事業所外資源によるケア
 - 産業保健関連の機関

このうち、職場管理者による相談、および専門スタッフとの連携が重要です。相談を受けるに当たっては相手の話をまずは受け入れ、共感している姿勢を示しながら聞く「傾聴」が必要です。

職場でもこれらの啓発、体制作り、復職時の対応検討など対応が求められています。

第一部 生活習慣病について
メタボ、そして動脈硬化

第二部 メンタルヘルスについて
職場でのメンタルヘルス問題への取組み



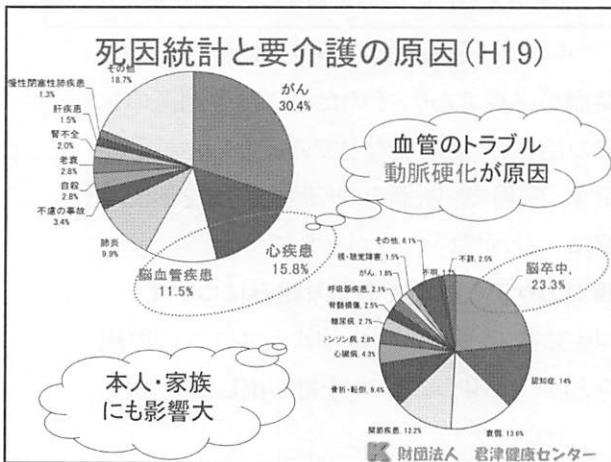
財団法人 君津健康センター
産業保健部 山瀧 一

財団法人 君津健康センター

1 生活習慣病について


- メタボ、動脈硬化、そして生活習慣病
 - 動脈硬化の黒幕
 - メタボとはなにか(またその判定基準)
- 生活習慣病予防の柱
 - 食事と運動
 - 取組みのコツ

財団法人 君津健康センター



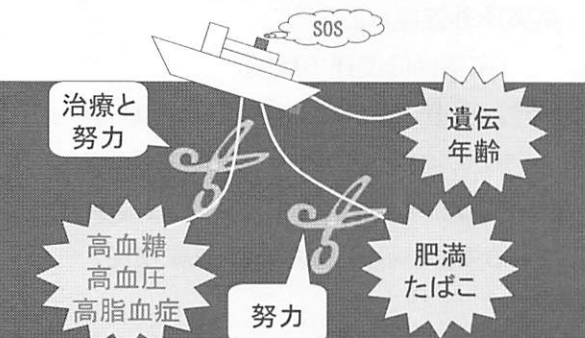
動脈硬化

- 動脈のはたらき
 - 圧力(血圧)に耐え、酸素と栄養を全身に
- 動脈硬化とは
 - 動脈の柔らかさ・弾力が失われた状態
 - コレステロールなどが沈着し壁が厚くなる
 - 刺激が持続し硬くなる
- 動脈硬化で何が起るか
 - 脳梗塞、心筋梗塞、狭心症など
 - 閉塞性動脈硬化症など



財団法人 君津健康センター

動脈硬化の危険因子 船とおもり



SOS

治療と努力

遺伝年齢

高血糖
高血圧
高脂血症

努力

肥満
たばこ

財団法人 君津健康センター

脳卒中・心臓病に至るまで

検査結果	34	42	44	54				
治療								
検査結果	37	40	45	47	50	54	56	57
心電図								
治療								

肥満

中性脂肪 高値

高血圧

高尿酸血症

低HDL(善玉コレステロール)血症

高LDL(悪玉コレステロール)血症

一過性脳虚血発作

脳梗塞

肥満

GPT高値(脂肪肝から?)

高血圧

中性脂肪 高値

高血尿酸

低HDL(善玉コレステロール)血症

高血尿酸

陰性T波

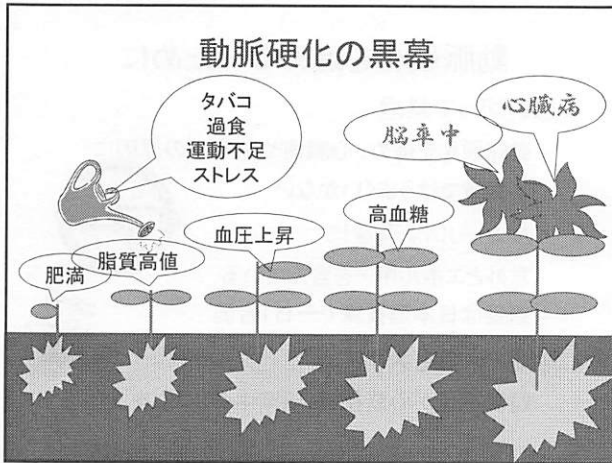
ST-T異常

異常Q波

陈旧性心筋梗塞治療

(生活習慣病健診・保健指導の在りかに関する検討会 尼崎市野口緑地出張所)

財団法人 君津健康センター



動脈硬化と内臓脂肪

- 脂肪のはたらき
 - エネルギーの貯蔵
 - アディポサイトカイン放出
 - ・さまざまな生理的作用
- 肥満により機能異常
 - 善玉(アディポネクチン)減少と悪玉の増加
 - 高血糖/脂質異常/高血圧

⇒ 動脈硬化の進行

- 内臓脂肪の特性
 - 最初に増える/減る

皮下脂肪
内臓脂肪 104cm²
「ファットスキャン」による内臓脂肪細胞の変化
肥満に伴い形態と機能の異常が進行

財団法人 君津健康センター

メタボリックシンドローム

- メタボリック
 - 「代謝」= 生体内での物質の変化
- メタボリックシンドローム
 - 内臓脂肪の蓄積と、それによる複数の異常
- 診断基準
 - へそ周り 男性85cm 女性90cm 以上
 - 加えて以下のうち2項目
 - ※中性脂肪が高い(150mg/dl以上)
 - /HDLコレステロールが低い(40mg/dl未満)
 - ※血圧が高い(130/85mmHg以上)
 - ※空腹時の血糖値が高い(110mg/dl以上)
 - なお※の項目は治療中のものも含む

財団法人 君津健康センター

健康で長生きするために

内臓脂肪

内臓脂肪を減らせば
(増やさなければ)
きっと脳卒中や心臓病の
予防に役立つはず...

高脂血症
糖尿病
高血圧

一つ一つの危険因子に
手を打つことも
大切ですが...

脳卒中
心臓病

倒れてから治療するのは
大変...

財団法人 君津健康センター

メタボ・生活習慣病対策の柱

- 内臓脂肪を増やさない食生活
 - エネルギーをとり過ぎない
- 内臓脂肪を減らす運動習慣
 - エネルギーを消費する
 - 筋肉を育てる
- 動脈硬化を進めないために
 - たばこ、アルコール、休養(睡眠)について
- 無理のない取組みを

健康増進普及月間ポスターより

財団法人 君津健康センター

運動について

- 30分以上続けて運動しないとだめ?
 - 理想的には、しかし分割しても効果は同等
- サウナスーツが効果的?
 - 脱水となり体重は減るが脂肪は減らない
- 安全のために
 - 持病のある人は主治医とよく相談して
 - 準備体操・ストレッチ・整理体操を忘れずに

財団法人 君津健康センター

これくらい食べたらこれくらい運動

肉まん 1/2 オムレツ 1/2 ごはん 1/2 ガーデニング 45分
 リンゴ 1個 焼き鳥 1.5本 プリン 1個 麻婆丼 2/3 缶ビール 3/5 缶コーヒー 1.5
 炊事・洗濯 [立ち仕事] 50分
 歩く [9.9kmに80m/分] 29分 水泳 [水中歩行でもOK] 14分

すべて100kcal 【参考】はらすまダイエット(大塚製薬の以下のサイトもご参考に)
<http://www.otsuka.co.jp/health/harasma/>

財団法人 君津健康センター

動脈硬化を進めないために

- 思い切って禁煙
 - 動脈硬化を進め、心臓病や脳卒中の原因に
 - 本数減ではうまくいかない
- アルコールは適量に
 - 意外とエネルギーを含んでいる
 - 適量は日本酒換算で一日1合弱
- 睡眠・休養も大切
 - 睡眠不足が心筋梗塞・脳卒中のリスクを上げる

財団法人 君津健康センター

日常生活を見直す

- 20歳の頃の体重と今の体重
 - 増加分はおそらく脂肪です
 - 脂肪1kg=7,000kcalに相当
- 例:20歳で60kg、40歳で80kg
 - 20kgはほぼ脂肪
 - $7,000 \times 20 = 140,000\text{kcal}$
 - $20\text{年} = 7300\text{日} (365 \times 20)$
 - $140,000 \div 7,300 \approx 19.2\dots$
 - ほぼ毎日20kcalが余分だった計算
 - 5-6分の歩行、飴玉1個程度

財団法人 君津健康センター

腹囲を測ってみましょう

- 肥満や内臓脂肪蓄積の目安になる
 - 簡単に測定できる
 - 数ヶ月で効果が現れる
 - 着替えの時に意識し易い
- 測定方法
 - まっすぐ立ち巻尺はよじれないように
 - へその高さでの胴回りを測定
 - 呼吸にあわせて動くぐらいのきつさで
 - 軽く息を吐いた時の長さを見る

財団法人 君津健康センター

記録してみましょう

日付	2月1日	2月2日	2月3日
体重(kg)	74.4	74.2	74.5
腹囲(cm)	85.5	85	86
血圧(mmHg)	130/82	134/90	140/88
目標1 毎日10分以上歩く	○	○	×
目標2 コーヒーはブラック	○	△	○
目標3 お酒は1合まで	○	○	×

できそうなものを具体的に

コメント

言い訳も振り返りに重要

2月1日: 頑張った。

2月2日: 来客ありつつられて砂糖を入れたしまった。

2月3日: 忙しくてストレスもたまった。つい飲みすぎた。

財団法人 君津健康センター

特定健診と特定保健指導の流れ

40歳以上75歳未満の被保険者・被扶養者

標準的な質問票(服薬歴・喫煙・他生活習慣) 特定健診(腹囲測定を含む)

メタボリックシンドローム判定 (該当/予備群/非該当/判定不能)

随層化(情報提供/動機付け支援/積極的支援) 優先順位

全員に情報提供

情報提供群 情報提供のみ	動機付け支援群 初回面接 6ヶ月後の評価	積極的支援群 初回面接 継続的支援 6ヶ月後の評価
-----------------	----------------------------	------------------------------------

電子ファイルとして保険者に

財団法人 君津健康センター

2 メンタルヘルスについて

- シミュレーションゲーム(導入)
- セルフケアのための基礎知識
 - ストレス・ストレッサーについて
 - 自殺とうつについて
 - アルコールの問題
- 職場におけるメンタルヘルスの重要性
- 職場でのメンタルヘルスケア
 - 復職について
 - 傾聴することの大切さ

財団法人 君津健康センター

Bさんを救え

仕事に行き詰まり、眠れなくなったケース
(工場編)

北村隼人先生(三菱重工)作成の資料を改変
<http://mental.m.u-tokyo.ac.jp/jstress/>

財団法人 君津健康センター

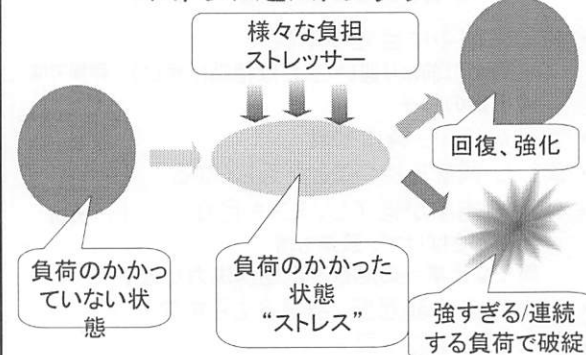
シミュレーションゲームまとめ

- 最悪の結末は自殺
- おかしいと思ったらまず話を聞く
- 不用意な”励まし”は逆効果
- うつには適切な治療が必要
 - 入院は原則本人同意のもと
 - 自傷他害の恐れある場合は例外⇒専門医「措置入院」
 - 休養、通院、抗うつ薬が三本柱
 - 軽い安定剤や睡眠薬では改善しない。
- 家族との協力も視野に



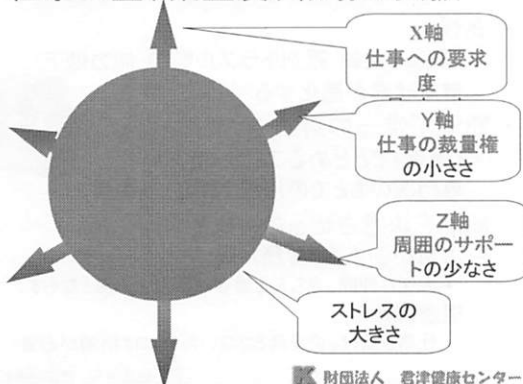
財団法人 君津健康センター

ストレスとストレッサー



財団法人 君津健康センター

仕事の量、裁量度、職場の支援



財団法人 君津健康センター

自殺について

- 平成10年以降、3万人超の状態が続く
 - 男性20-44歳、女性15-34歳では死因の第1位
- 自殺と精神疾患の関連('00年WHO調査)
 - 大多数に精神疾患
 - ①うつ ②アルコール依存...
 - 多くは適切な治療なし
- よくある誤解
 - 一度自殺未遂をした人はもう自殺しない
 - 「死にたい」といっている人は死なない
 - 自殺は強い意思・決意に基づく行動である

財団法人 君津健康センター

うつ病とは(1)

- 脳の機能の低下による病気である
 - 神経伝達物質の不調
- 普通に見られる病気である
 - 100人中3-5人、生涯で1-2割がかかる
- まじめで几帳面な人がかかりやすい
 - 必ず、ではないが...
- 治療により治る(≒日常生活が可能になる)
 - 通院と抗うつ薬内服、休養(慣れた環境での)



財団法人 君津健康センター

うつ病とは(2)

- 症状
 - 気分の落ち込み(午前中に強い)
 - 興味や喜びがなくなる
 - 自信喪失・罪悪感・悲観
 - 睡眠障害、食欲不振
 - ほかささまざまな身体の不調
 - 自殺

安易な
励ましは
禁物



財団法人 君津健康センター

職場で見られる心の不調

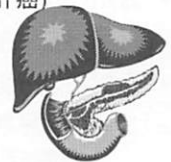
- 特に午前中に目立つ不調
 - 出勤が以前より遅い(または極端に早い)
 - 寝不足の様子
- 食欲の低下、時にやせ
- 楽しむ/興味を持つことが乏しくなる
- 仕事の能率が低下し、ミスが目立つ
 - 仕事がさばけず、残業も増
 - 新たな仕事への意欲や問題解決力が低下
- 自信喪失や罪悪感、辞意をもらすなど
- 様々な身体の不調

職場では
病名より
日常生活や
仕事上の
不具合への
気づきが
大切

財団法人 君津健康センター

アルコールの慢性的な影響

- 肝障害
 - 脂肪肝⇒慢性肝炎⇒肝硬変(⇒肝癌)
 - 慢性肝炎までなら断酒で改善
- 糖尿病
 - 改善のためには断酒が必要
- 脳の機能低下
 - 人格をつかさどる前頭葉萎縮
 - 怒りっぽい涙もろい、白黒二元論、惚れ込み易くすぐ失望
 - 抑うつ、睡眠障害(眠りが浅くなる)
- ほか高血圧、食道癌のリスクが上昇 等



財団法人 君津健康センター

アルコール依存症

- 職場でも実はありふれた問題
 - 依存症82万人、大酒家220万人、被害3040万人
- 身体依存/精神依存性
- CAGE(以下)で2点以上は問題(職場で13%)
 - 酒の量を減らさなくてはまずいと思ったことがある
 - 自分の飲酒のことでほかの人から批判され、余計なお世話だと内心思ったことがある
 - 自分の飲酒のことで気がとがめたことがある
 - 気持ちを落ち着かせるために朝起きると真っ先に酒を飲んだことがある、または二日酔いを押さえるために迎え酒をしたことがある

財団法人 君津健康センター

アルコール依存症への対策

- 兆候
 - 酒臭い/欠勤・遅刻/トラブル増加・能力低下
 - 健康状態が悪化する
- 断酒が唯一の対策
 - 「適量」でとどめることができない
 - 専門医のもとでの治療/断酒会への参加
- 断酒を決意させるために
 - 上司から/人事・労務から
 - 大切な仲間、きちんと治せば経歴上も傷とならず
 - 医療職から
 - 仕事を続け、命を落とさないためには断酒が必要



財団法人 君津健康センター

職場におけるメンタルヘルスの重要性

- 職場の活力に影響
 - 精神疾患は長期休業者の原因として最多(6-7割)
- 人間関係や円滑な業務、安全との関連
 - 職場の「支援」がストレス軽減に不可欠
 - 業務やトラブル、悩みの報告・連絡・相談
 - (関連)CRM: Crew Resource Management
- 安全・健康配慮義務の対象
 - 労災認定された精神障害127件(うち自殺42件)
 - 社員の過労自殺に対して巨額の賠償(電通事件)

財団法人 君津健康センター

コミュニケーションと安全



- 航空機の事故
 - 滑走路上で2機のB747が衝突(1977年テネリフェ空港)
 - 機関士が滑走路上で別の機が滑走中であることをベテラン機長に進言するも機長がとりあげず、機関士もそれ以上の進言をためらったことも一因
 - 機長が適切な指示を出すことは必要だが権威的過ぎると事故が増える(シミュレーション訓練分析より)
- 安全な組織とは
 - 3) 自由な発言、同僚や上司に気軽に相談できる雰囲気があり、報告制度等により情報共有がなされている。
 - ICAO Human Factors Training Manual より

財団法人 君津健康センター

過労自殺の例(電通事件)



- '90年4月入社、6月ラジオ推進部配属
- 8月帰宅連日1-2時 '91年1月～帰宅しない日も
- 7月、元気なく鬱々、眼も虚ろで焦点合わず
- 8月、(上司に)「何をしているかわからない」「2時間ぐらいいしか眠れない」
- 8月19日、コピーに時間がかかりすぎている(上司が気づく)
- 8月23日、「霊にとりつかれた」「人間としてだめ」「仕事をどう進めていいかわからない」
- 8月27日午前6時帰宅、午前9時欠勤と連絡、10時ごろ自宅にて自殺

財団法人 君津健康センター

4つのケア

厚生省 労働者の心の健康の保持増進のための指針 より

- セルフケア
 - 個々人の正しい知識と適切な態度(相談等)
- ラインによるケア
 - 職場管理者などによる相談
- 事業所内スタッフによるケア
 - 保健師、産業医など
- 事業所外資源によるケア

話を注意深くききとる「傾聴」が重要!

事業場での計画的な実施

財団法人 君津健康センター

自分でできること～セルフケア～

- ストレスや心の健康に関する正しい知識と態度
- 自分のストレスに気づく
 - 「いつもとちがう」自分に気づく
- 自発的に相談する
 - 安心して相談できる仕組みが必要
- 管理職自身のケア
 - “プレイングマネージャー”



財団法人 君津健康センター

ラインによるケア～職場で支えあう～

- 職場の環境改善
 - 労働時間や仕事の量と質、人間関係、風土など
- 職場全体の問題点を把握する
 - 「職業性ストレス簡易調査票」の活用
- 気づきと管理監督者への相談
 - 「いつもと違う部下」に気づく
 - 産業看護職・産業医、専門機関につなぐ
- 管理監督者への教育と支援



財団法人 君津健康センター

事業場でのメンタルヘルスへの取り組み

- ・ 教育研修
 - 全体、および管理職向けなど
- ・ 相談窓口の整備
 - 安心して相談できる
- ・ 「4つのケア」の推進
 - 組織的に
- ・ プライバシーの保護
 - 個人情報の取り扱いにつき責任者を
- ・ 人事労務部門との連携
 - 職場配置、人事異動、職場の組織など

「心の健康づくり計画」
衛生委員会で調査審議
PDCAサイクルで継続的改善を

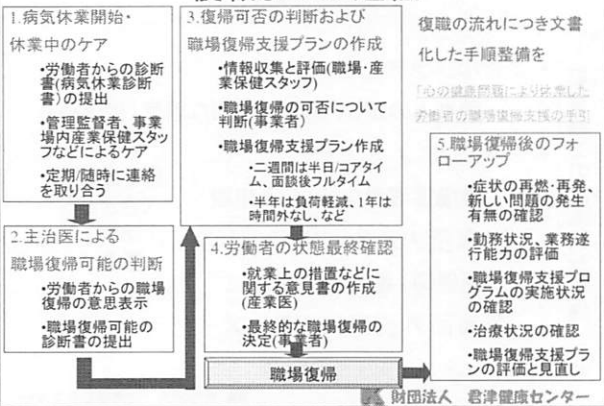
財団法人 君津健康センター

復職について

- ・ 長期休業者の原因の大半がメンタルヘルス問題
 - 50名いれぱうつ、500名いれぱ長期休業の人がいる
- ・ 治療と時間の経過により職場復帰も可能
 - 休養、通院、抗うつ薬
- ・ 完治にこだわらない
 - 完全に病気がない状態
 - ・ 実際にはより多くの時間を要し非現実的
 - (ほぼ)不自由なく過ごせる状態
 - ・ 治療や工夫(就業上の配慮)で可能
 - ・ 段階的な復職プログラムの必要性

財団法人 君津健康センター

復職までの過程



傾聴の重要性と効果

- ・ 信頼関係ができる。
 - 相談者との信頼関係が築かれる。
- ・ 相談者自身の自己理解が進む。
 - 自分の問題を話す中で、新しい見方ができる。
- ・ カタルシス効果
 - 話すことで胸のつかえがとれすっきりする。
- ・ 自己受容が進む
 - 自分は関心を持たれ理解される価値があると感じる



財団法人 君津健康センター

傾聴するために必要なこと

- ・ 受容的な態度
 - 身振り、視線の印象は大きい
- ・ まずは受容する
 - 「仕事が合わない」
 ○「合わないと思うんだね？」 ×「そんなことでどうする！（略）」
- ・ 「うなずき」「あいづち」「おうむ返し」
 - “相手の話を受け止めている”というメッセージになる
- ・ 開かれた質問を活用する
 - What「何」やhow「どのように」
 ⇨ 閉ざされた質問(はい/いいえで答えられる質問)
 ・ Why(どうして)という質問は相談者を防衛的にする恐れ



財団法人 君津健康センター

むすび

- ・ 50人いれば、必ず心の健康問題は発生します
- ・ 管理者・社員一人ひとりの心構えと
- ・ 組織としての取り組みも必要です
 - 自分の問題に気づく
 - 同僚・部下・仲間の相談に乗る
 - かかえこまず、相談する
 - お互いの理解と受け入れ
 - いまから備えておきましょう



財団法人 君津健康センター

10. 「計量関係功労者」千葉県知事表彰

名取元会長が平成20年度「計量関係功労者」千葉県知事表彰を受賞

千葉県では、計量行政の推進に際し毎年11月1日の計量記念日を中心に毎年11月を「計量正確強調月間」とし、計量思想の普及啓発及び適正な計量の実施の確保を目的とした各種行事を実施しておりますが、その中心的な行事として、計量行政の推進、計量の発展及び普及に関して功績が認められる者を「計量関係功労者」として知事表彰しています。

本年は、在籍事業社において、環境計量士として30年以上に亘る環境計量に関する技術の維持・向上、適正な環境計量の実施確保に果たした実績と、千環協の維持発展に役員として寄与した功績が認められ、当協会の顧問である名取元会長に対し知事表彰が授与されましたのでご報告致します。

表彰式は、11月4日午前に県庁商工労働部会議室において計量検定所の米谷所長の司会進行で進められ、県商工労働部の猿田部長から表彰状の授与と祝辞があり、名取元会長からの謝辞を持って無事滞りなく終了致しました。



猿田商工労働部長（奥）より名取元会長（手前）へ表彰状授与



出席者で記念撮影（計量検定所提供）
前列中央が名取元会長

【知事表彰受賞にあたって】

第8代千環協会長 名取昭平

千環協の皆様、ご無沙汰しております。このたび、知事表彰の榮譽に与りまして、誠にありがとうございました。まずは、ご推挙いただきました武藤会長、津上前会長他関係の皆様には厚く御礼申し上げます。11月4日に、計量協会の恵藤会長、斉藤事務局長ほか多数のご臨席を賜り、猿田商工労働部長より、知事表彰を拝受いたしました。私は、千環協には、平成元年に初めて理事として、技術委員長を担当させていただき、その後、総務委員長、副会長を経て、平成9年に、第8代会長として、中村さん（元中外テクノス株）より会長を引継ぎました。その後5年間ほど会長職を担当させていただきましたが、当時、他の役員の方々の多大なるご支援をいただきまして、会長職を全うすることができました。中でも、平成13年の日環協関東支部との共催の環境セミナー（鴨川グランドホテルにおいて）が思い出深いものでした。詳細は割愛させていただきますが、「何でこんなに千環協は活性化しているのだ」という当時の日環協会長のお褒めの言葉を頂戴いたしまして、成功裏に終えることができました。表彰をいただいた週の11月7日（金）に、ひさしぶりに千環協技術発表会に参加いたしましたが、70名近い出席者で活発に活動されている様子を見させていただき、こころ強く感じました。今21世紀は、環境の世紀といわれており、ますます会員各社が発展されることを祈念いたしております。今回の表彰を励みに、今後も、公私ともにがんばって参りたいと存じます。どうもありがとうございました。

11. 新会員紹介

11-1. 株式会社エイビス

常務取締役 渡邊浩二

この度、千環協に新規入会致しました 株式会社エイビス でございます。
今後、千環協の窓口を担当いたします渡邊と申します。
皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

【会社概要】

- ① 商号 株式会社エイビス
- ② 代表者 代表取締役社長 吉武俊一
- ③ 所在地 本社 〒870-0906 大分県大分市大州町1丁目4番32号
TEL. 097(573)2244 FAX. 097(573)2220
東京営業所 〒105-0014 東京都港区芝3-3-14ニッパビル5F
TEL.03(5232)3678 FAX. 03(5232)3679
- ④ 資本金 2,000万円
- ⑤ 従業員 40名

【業務内容】

弊社は平成9年に設立し12年目を迎えております。業務の方はコンピュータのシステム開発、販売を行っております。水質、食品、大気、作業環境など各種分析、測定に関わる採取計画や受付処理、報告書発行、請求業務など業務効率化を図るシステムを全国に販売しております。現在では民間の検査機関様から厚生省の指定検査機関様まで、幅広いお客様にご活用頂いております。

また、システムのカスタマイズも行い、お客様のニーズに合わせたご提案もさせていただきます。

詳しくはホームページ <http://www.aivs.co.jp> をご参照願います。

【商品紹介】

- ◆ 水質検査システム
- ◆ 食品検査システム
- ◆ 大気測定システム
- ◆ 作業環境システム
- ◆ 空気環境システム
- ◆ 簡易専用水道システム
- ◆ 見積・受注システム
- ◆ 販売管理システム
- ◆ 分析機器データ取込システム
- ◆ イプロス（インターネットを使い検査結果データを依頼者へ公開するシステム）

その他にもバーコードを使った受付システムなど多様なご提案が可能です。
ご興味ございましたら、ご遠慮なくご一報下さいませ。お待ちしております。

11-2. 財団法人千葉県環境財団

業務部長 高石幸一

この度、新規入会致しました財団法人千葉県環境財団でございます。

当財団は、昭和49年12月25日に県・市町村が実施する環境行政の推進に寄与することを目的に設立された公益法人です。

【概要】当財団では、公益法人として業務の公正・正確・迅速を第一に考え、環境全般に関する調査・分析業務等を実施しています。また、公益事業としては、千葉県で唯一の地球温暖化防止活動推進センターに指定されるほか、ちば環境再生基金事業を運営するなど、色々な方面から千葉県の環境保全や再生に取り組んでいます。

■基本金：1億円

■出捐団体：千葉県・千葉市・市原市・君津市・袖ヶ浦市

■代表者：理事長 小久保 英二

■役員：10名（うち常勤役員2名）

■職員：技術職員47名 事務職員15名

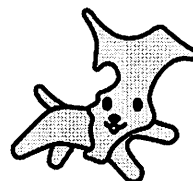
【事業概要】

■環境活動推進事業

- ①環境学習等普及啓発事業 ②エコアクション21 地域事務局運営事業 ③地球温暖化防止活動推進センター事業 ④環境関係図書頒布事業

■ちば環境再生基金事業

- ①NPO 環境活動助成事業 ②市町村による戦略的自然再生事業への助成事業 ③負の遺産対策事業 ④モデル事業（なのはな・ひまわりエコプロジェクト）



「ちば犬」
ちば環境再生基金マスコットキャラクター

■手賀沼親水広場管理受託事業

■環境調査分析等受託事業

- ①調査・分析事業（水質（水道水、地下水・温泉水、表流水（河川・湖沼）、排水）、底質、土壌、廃棄物等の調査分析）、大気（ばい煙、環境）、ダイオキシン類、悪臭、騒音、振動、作業環境、アスベスト、シックハウス） ②地質環境事業 ③環境アセスメント事業 ④環境監視測定局保守管理事業 ⑤浄化槽関連事業 ⑥産業廃棄物処理業務

■主な登録

- ◇ ISO14001及びISO9001認証並びにISO/IEC17025試験所認定
- ◇ 計量証明事業登録（濃度・騒音・振動加速度レベル・特定濃度（ダイオキシン類））
- ◇ 水道法第20条の4第2項及び第34条の2に基づく厚生労働省登録水質検査機関
- ◇ 建築物飲料水水質検査業・空気環境測定業、作業環境測定機関
- ◇ 土壌汚染対策法に基づく環境省指定調査機関
- ◇ 測量業、建設コンサルタント（地質部門）、地質調査業者登録、温泉成分分析機関登録

詳しい内容は当財団ホームページ（URL：<http://www.ckz.jp/>）で紹介しております。

11-3. 財団法人千葉県薬剤師会検査センター

藤井則昭

この度、千環協に新規入会させていただきました(財)千葉県薬剤師会検査センターでございます。入会が遅れてしまいましたが、今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

[弊センターの概要]

基本財産：1,000万円

設立：昭和48年9月(今年で創立35周年を迎えました)

理事長：櫻井 顯 (さくらい あきら)

事業所：本部施設 〒260-0024 千葉市中央区中央港1-12-11
：緑の森施設 〒267-0056 千葉市緑区大野台2-3-36

主な登録：計量証明業(濃度 特定濃度 音圧 振動加速度)
特定計量証明業事業者認定 水道法20条34条登録機関
食品衛生法登録機関 薬事法登録機関 作業環境測定登録
機関 建築物(飲料水水質・空気環境)測定業登録
土壌汚染指定調査機関 ダイオキシン類受注資格(環境省)

ISO等：ISO/IEC17025 認定取得

：ISO9001 認証取得

：JNLA(工業標準化法に基づく試験事業者)登録認定取得

認定範囲等詳細はホームページでご確認下さい。

[業務内容と特徴] (<http://www.chiba-kensacenter.or.jp> をご参照下さい。)

～よりよい地球を未来へ～をテーマに健康で安全、快適な生活を守ると
いう財団の目的を達成するために、飲料水・環境・排水・大気・食品等の
試験検査ならびに相談を行っています。今後もなお一層の、ご指導、ご鞭
撻お願いいたします。

<連絡先> 業務部 藤井 田中 TEL043-242-3833

11-4. 株式会社 中研コンサルタント

中山 公彦

この度、千環協に新規入会致しました(株)中研コンサルタントです。私こと中山が弊社窓口を担当させていただきます。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

[会社概要]

- ① 商号 株式会社 中研コンサルタント
- ② 代表者 代表取締役社長 児玉健郎
- ③ 所在地 本 社 〒551-0021 大阪府大阪市大正区南恩加島 7-1-55
TEL. 06(6556)2380 FAX. 06(6556)2389
関東支店 〒102-8465 東京都千代田区六番町 6-28
TEL. 03(5211)4852 FAX. 03(3221)4605
○ 技術部 〒274-0053 千葉県船橋市豊富町 585
TEL. 047(457)3628 FAX. 047(457)6284
- ④ 資本金 1,500万円
- ⑤ 主な登録 計量証明事業(濃度)、建設コンサルタント、作業環境測定機関、
土壌汚染指定調査機関、地質調査業登録、
JNLA登録認定取得(コンクリート試験・骨材試験 他)

[当社の業務内容] (<http://www.chuken.co.jp/>をご参照下さい)

当社は、コンクリート材料、コンクリート・鋼構造、環境、地盤、分析を中心とした技術コンサルタントとして、コンクリート構造物等の耐久性向上及び維持管理、さらに環境との調和、環境問題の状況把握と対策、廃棄物の有効利用といった課題に取り組んでおります。

関東支店技術部ではお客様の多様なニーズにお答えすべく、既存分野の充実と新しい分野へのチャレンジを継続してまいります。

<連絡先> 中山 TEL. 047(457)3628

会 員 名 簿

会 員 名	連 絡 場 所	担 当 者 (注)	事 業 区 分					注)	
			濃 度				振動・ 音圧		加 速 度
			大気	水質	土壌	特・計			
アエスト環境(株) 代表取締役 三澤 剛	〒270-2221 松戸市紙敷1丁目30番の2 Tel 047-389-6111 Fax 047-389-3366	鈴木まり子 (赤) 三澤 剛	○	○	○			産・上 悪・作 環	
旭硝子(株) 千葉工場 工場長 田中 憲一 (ホームページアドレス) http://www.agc.co.jp/	〒290-8566 市原市五井海岸10番地 Tel 0436-23-3150 Fax 0436-23-3187	(ニ)安西 源一 (E.メールアドレス) geniti-anzai@agc.co.jp (赤)渋谷 英世 (E.メールアドレス) hideyo-sibuya@agc.co.jp	○	○	○			産	
イカリ消毒(株) LC環境検査センター 代表取締役 黒澤 聡樹 (ホームページアドレス) http://www.ikari.co.jp/	〒275-0024 習志野市茜浜1-5-10 Tel 047-452-6718 Fax 047-452-6720	環境分析グループ 高垣 博志 (E.メールアドレス) takagaki@ikari.co.jp	○	○	○			産・上 試・環	
出光興産(株) 先進技術研究所 所長 久米 和男 (ホームページアドレス) http://idemitsu.co.jp/energy/tech/	〒299-0293 袖ヶ浦市上泉1280 Tel 0438-75-2314 Fax 0438-75-7213	石川 典央 (E.メールアドレス) norio.ishikawa@si.idemitsu.co.jp			○	○			
(株)出光プラントック 千葉 代表取締役社長 宇野 東 (ホームページアドレス) http://	〒299-0192 市原市姉崎海岸2番地1 出光興産千葉製油所内 Tel 0436-60-1734 Fax 0436-60-1915	森元 脩之 (E.メールアドレス) nobuyuki.morimoto01@si.idemitsu.co.jp	○	○	○				
荏原エンジニアリングサービス(株) 袖ヶ浦薬品事業所 所長 楨田則夫 (ホームページアドレス) http://www.ees.ebara.com	〒299-0267 袖ヶ浦市中袖35 Tel 0438-63-8700 Fax 0438-60-1171	佐藤 克昭 (E.メールアドレス) sato.katsuaki@ees.ebara.com			○	○		産・悪 上・試	
(株)上総環境調査センター 代表取締役 浜田 康雄 (ホームページアドレス) http://www.kazusakankyo.co.jp e-mail:post@kazusakankyo.co.jp	〒292-0834 木更津市潮見4丁目16番2号 Tel 0438-36-5001 Fax 0438-36-5073	業務部次長 中山 徹 (E.メールアドレス) soumu@kazusakankyo.co.jp	○	○	○	○	○	産・上 悪・作 試・環	
(株)加藤建設 環境技術部長 中嶋 正人 (ホームページアドレス) http://www.kato-kensetu.co.jp	〒284-0001 四街道市大日字大作岡1097-7 Tel 043-304-2399 Fax 043-304-2665	環境技術部主任 平山 千恵子 (E.メールアドレス) chi.hirayama@kato-kensetu.co.jp			○	○			
(株)環境管理センター 東関東支社 取締役常務執行役員支社長 青木 鉄雄 (ホームページアドレス) http://www.kankyo-kanri.co.jp/ e-mail:higashi-ecc@kankyo-kanri.co.jp	〒266-0031 千葉市緑区おゆみ野5-44-3 Tel 043-300-3300 Fax 043-300-3312	副支社長 吉本 優 (E.メールアドレス) myoshimoto@kankyo-kanri.co.jp	○	○	○	※	○	産・上 悪・試 環・作 副会長(広報・情報) 吉本 優	
(株)環境コントロールセンター 代表取締役社長 松尾 博之 (ホームページアドレス) http://www.e-c-c.co.jp/ e-mail:info@e-c-c.co.jp	〒260-0806 千葉市中央区宮崎町1-22-10 Tel 043-265-2261 Fax 043-261-0402	永友 康浩 (E.メールアドレス) ynagatomo@e-c-c.co.jp	○	○				産・上	

注) 特・計：特定計量証明事業 ※：県外事業所登録

産：産業廃棄物分析、環：環境アセスメント、上：上水分析、悪：悪臭、作：作業環境、試：試験・研究・開発
(赤)：赤本(年1回発行の会員名簿)の御担当 (ニ)：千環協ニュース会員名簿の御担当

※会員名簿は、一部個人情報を含むものですが、事前に会員各社における担当個人情報取り扱いの了解のもと掲載しております。
※会員名簿は、実際の印刷時点の最新のものを掲載しています。

会 員 名 簿

会 員 名	連 絡 場 所	連 絡 担 当 者 (注)	事 業 区 分						備 考
			濃 度				音 圧	振 動・ 加 速 度	
			大 気	水 質	土 壌	特・計			
(株)環境測定センター 代表取締役社長 小野 博利 (ホームページアドレス) http://www.kansoku.jp e-mail: onohi@kansoku.jp	〒262-0023 千葉市花見川区検見川町 3-316-25 Tel 043-274-1031 Fax 043-274-1032	鈴木 健一 (E.メールアドレス) taiki@kansoku.jp	○	○					
基礎地盤コンサルタンツ(株) 代表取締役社長 小林 精二 (ホームページアドレス) http://www.kiso.co.jp	(二) 〒135-0016 東京都江東区東陽3-22-6 Tel 03-5632-6827 Fax 03-5632-6816 (赤) 〒263-0001 千葉市稲毛区長沼原町 51 Tel 043-298-6310 Fax 043-250-5129	環境技術センター 野田 典広 (E.メールアドレス) noda.norihiro@kiso.co.jp		○	○				試
キッコマン(株) 分析センター 分析センター長 戸邊 光一郎 (ホームページアドレス) http://www.kikkoman.co.jp	〒278-0037 野田市野田350 Tel 04-7123-5063 Fax 04-7123-5904	(二) 飯島 公勇 (E.メールアドレス) kijijima@mail.kikkoman.co.jp (赤)業務担当者 古矢 光男 (E.メールアドレス) mfuruya@mail.kikkoman.co.jp	○	○	○		○	○	産・上 悪 理事(教育・企画) 戸邊 光一郎
(有)君津清掃設備工業 濃度計量証明事業所 取締役社長 松尾 昭憲 (ホームページアドレス) http://www.kss3194.co.jp/	〒299-0236 袖ヶ浦市横田3954 Tel 0438-75-3194 Fax 0438-75-7029	嘉数 良規 (赤) 松尾昭憲 (E.メールアドレス) kss3194@nifty.com		○					上
クリタ分析センター(株) 千葉事業所 総務部長 土井 賢二郎 (ホームページアドレス) http://www.kuritabunseki.co.jp	〒299-0266 袖ヶ浦市北袖1番地 Tel 0438-62-5494 Fax 0438-62-5494 〒305-8504 茨城県つくば市高野台2-8-14 Tel 029-836-7011 Fax 029-836-7037	(二) 上迫寿志 (赤) 瀬戸坂 勝章 (E.メールアドレス) katsuakisetozaka@kbc.kurita.co.jp	※	○	○		※	※	産・上 悪・試 環・作
京葉ガス(株) 技術研修センター 技術研修センター部長 石上 隆	〒272-8580 市川市市川南2-8-8 Tel 047-325-4500 Fax 047-323-0692	技術開発グループ 永塚 孝幸 (E.メールアドレス) t-nagatsuka@keiyogas.co.jp		○	○				試
(株)ケーオーエンジニアリング 代表取締役社長 小栗 勝	〒277-0827 柏市松葉町2-11-11 Tel 04-7133-0142 Fax 04-7133-0131	小栗 勝 (E.メールアドレス) koe@bb.wakwak.com	○	○			○	○	
(株)ケミコート 代表取締役社長 中川 完司 (ホームページアドレス) http://www.chemicoat.co.jp	〒279-0002 浦安市北栄4-15-10 Tel 047-352-1137 Fax 047-352-2615	研究開発品質保証部 代田 和宏 (E.メールアドレス) k-sirota@chemicoat.co.jp		○					

注) 特・計：特定計量証明事業 ※：県外事業所登録

産：産業廃棄物分析、環：環境アセスメント、上：上水分析、悪：悪臭、作：作業環境、試：試験・研究・開発

(赤)：赤本(年1回発行の会員名簿)の御担当 (二)：千環協ニュース会員名簿の御担当

※会員名簿は、一部個人情報を含むものですが、事前に会員各社における担当個人情報取り扱いの了解のもと掲載しております。

※会員名簿は、実際の印刷時点の最新のものを掲載しています。

会 員 名 簿

会 員 名	連 絡 場 所	連 絡 担 当 者 (注)	事 業 区 分						備 考			
			濃 度				音 圧	振 動・ 加 速 度				
			大 気	水 質	土 壌	特・計						
(株)建設技術研究所 東京本社 河川部 水質試験室室長 込山 美光 (ホームページアドレス) http://www.ctie.co.jp e-mail:ys-komym@ctie.co.jp	〒278-0022 野田市山崎728-6 Tel 04-7121-2021 Fax 04-7121-2022	(赤) 嶋谷元樹 (E.メールアドレス) simatani@ctie.co.jp 平田 治 (E.メールアドレス) o-hirata@ctie.co.jp			○	○			環・試 上			
公害計器サービス(株) 代表取締役社長 佐藤 政敏 (ホームページアドレス) http://www.h2.dion.ne.jp/~kks-home/	〒290-0042 市原市出津7-8 Tel 0436-21-4871 Fax 0436-22-1617	(赤) 井上 茂樹 佐藤 政敏 (E.メールアドレス) kks-sato@w6.dion.ne.jp			○	○	○		環・試			
合同資源産業(株) 千葉事業所 常務取締役所長 遠藤 宣哉 (ホームページアドレス) http://www.godoshigen.co.jp/	〒299-4333 長生郡長生村七井土1365 Tel 0475-32-1111 Fax 0475-32-1115	大谷 康彦 (E.メールアドレス) y.ootani@godoshigen.co.jp			○	○	○					
(株)三造試験センター 東部事業所 取締役所長 伊藤 秀伸	〒290-0067 市原市八幡海岸通1 Tel 0436-43-8931 Fax 0436-41-1256	(赤) 佐久間 信行 (E.メールアドレス) sakumtrc@mes.co.jp 三上 公一 komikami@mes.co.jp			○	○	○		産・上 試・作			
JFEテクノロジー(株) 分析・評価事業部 取締役 千葉事業所長 豊岡 高明 (ホームページアドレス) http://www.jfe-tec.co.jp e-mail:chiba-com@jfe-tec.co.jp	〒260-0835 千葉市中央区川崎町1 Tel 043-262-2313 Fax 043-262-2199	分析部 望月 正 (E.メールアドレス) mochizuki@jfe-tec.co.jp			○	○	○	※	※	※	産・環 作・試 悪 (監事) 望月 正	
(株)ジオソフト 代表取締役社長 鈴木 民夫	〒261-0012 千葉市美浜区磯辺1-2-11 Tel 043-270-1261 Fax 043-270-1815	鈴木 民夫 (E.メールアドレス) geosoft@mti.biglobe.ne.jp							○	○	環・試	
習和産業(株) 取締役社長 川瀬全市郎 (ホームページアドレス) http://www.e-shuwa.jp e-mail:kankyo-keiyo@e-shuwa.jp	〒275-0001 習志野市東習志野3-15-11 Tel 047-477-5098 (代) Fax 047-477-5324	津上 昌平 吉野 昭仁 (E.メールアドレス) yosino-akihiro@hitachi-ies.co.jp			○	○	○	○	○	○	産・上 悪・試 作	
(株)杉田製線 市川工場 代表取締役社長 杉田 光一 (ホームページアドレス) http://www.sugitawire.co.jp/	〒272-0002 市川市二俣新町17 Tel 047-327-4517 Fax 047-328-6260	化成品グループ 木村 成夫 (E.メールアドレス) s-kimura@sugitawire.co.jp								○	○	産
(株)住化分析センター 千葉事業所 取締役所長 富嶋公明 (ホームページアドレス) http://www.scas.co.jp	〒299-0266 袖ヶ浦市北袖2-1 Tel 0438-63-6920 Fax 0438-63-6921	千葉営業部 保坂 典男 (E.メールアドレス) hchiba@scas.co.jp (ニ)村上高行 (ニ)伊藤浩征 (E.メールアドレス) hchiba@scas.co.jp			○	○	○	※	※	※	産・上 悪・試 環・作 理事(技術) 村上 高行	

注) 特・計：特定計量証明事業 ※：県外事業所登録

産：産業廃棄物分析、環：環境アセスメント、上：上水分析、悪：悪臭、作：作業環境、試：試験・研究・開発

(赤)：赤本(年1回発行の会員名簿)の御担当 (ニ)：千環協ニュース会員名簿の御担当

※会員名簿は、一部個人情報を含むものですが、事前に会員各社における担当個人情報取り扱いの了解のもと掲載しております。

※会員名簿は、実際の印刷時点の最新のものを掲載しています。

会 員 名 簿

会 員 名	連 絡 場 所	連 絡 担 当 者 (注)	事 業 区 分						備 考
			濃 度				振 動・		
			大 気	水 質	土 壌	特・計	音 圧	加 速 度	
住 鋳 テクノリサーチ(株) 東京事業所 所 長 佐々木 公司 (ホームページアドレス) http://www.sumikou-techno.jp/	〒270-2214 松戸市松飛台439-2 Tel 047-394-5233 Fax 047-387-8713	所長 佐々木 公司 (E.メールアドレス) str-tokyo@galaxy.ocn.ne.jp	○	○	○	※	※	※	産・悪 環・作 試
住友大阪セメント(株) セメント・コンクリート研究所 環境技術センター 所 長 井ノ川 尚 (ホームページアドレス) http://www.soc.co.jp	〒274-8601 船橋市豊富町585 Tel 047-457-0751 Fax 047-457-7871	坂井 小百合		○	○			○	
セイコーアイ・テクノリサーチ (株) 代表取締役社長 安田 和久 (ホームページアドレス) http://www.sii.co.jp/sitr/index.html	〒270-2222 松戸市高塚新田563 Tel 047-391-2298 Fax 047-392-3238	荒木 徹 (E.メールアドレス) sitr@sii.co.jp	○	○	○				産・上 作・試 理事(総務) 荒木 徹
(株)総合環境分析研究所 代表取締役 高野 俊之	〒271-0067 松戸市樋野口616 Tel 047-363-4985 Fax 047-363-4985	代表取締役 高野 俊之	○						
(株)太平洋コンサルタント 常務取締役研究センター長 曾根 徳明 (ホームページアドレス) http://www.taiheiyo-c.co.jp/ e-mail:Tokuaki_Sone@grp.Taiheiyo-cement.co.jp	〒285-0802 佐倉市大作2-4-2 Tel 043-498-3856 Fax 043-498-3919	(二)管理部佐倉業務C 松村 博 (E.メールアドレス) Hiroshi-Matsumura@grp.taiheiyo-cement.co.jp (赤)分析事業部 綾田 隆史 (E.メールアドレス) Takashi_Ayata@grp.taiheiyo-cement.co.jp	○	○	○	○			試 理事(経営・業務) 綾田 隆史
(株)ダ イ ワ 千葉支店 取締役支店長 勝木 重信 (ホームページアドレス) http://www.daiwa-eco.com	〒283-0062 東金市家徳238-3 Tel 0475-58-5221 Fax 0475-58-5415	取締役副支店長 宮澤 康弘 (E.メールアドレス) miyazawa@daiwa-eco.com 営業課 伊藤 裕一 (E.メールアドレス) ito@daiwa-eco.com	○	○	○	※	※	※	産・上 悪・試 環・作
妙 中 鋳 業(株) 総合分析センター 代表取締役社長 妙中 寛治 (ホームページアドレス) http://www.taenaka.co.jp/	〒297-0033 茂原市大芝452 Tel 0475-24-0140 Fax 0475-23-6405	金井 弘和 (E.メールアドレス) kanai@taenaka.co.jp	○	○	○				
(財)千葉県環境財団 理事長 小久保 英二 (ホームページアドレス) http://www.ckz.jp/	〒260-0024 千葉市中央区中央港1-11-1 Tel 043-246-2078 Fax 043-246-6969	重松 智範 (E.メールアドレス) soumu@ckz.jp	○	○	○	○	○	○	産・上 悪・試 作

注) 特・計：特定計量証明事業 ※：県外事業所登録

産：産業廃棄物分析、環：環境アセスメント、上：上水分析、悪：悪臭、作：作業環境、試：試験・研究・開発

(赤)：赤本(年1回発行の会員名簿)の御担当 (二)：千葉協ニュース会員名簿の御担当

※会員名簿は、一部個人情報を含むものですが、事前に会員各社における担当個人情報取り扱いの了解のもと掲載しております。

※会員名簿は、実際の印刷時点の最新のものを掲載しています。

会 員 名 簿

会 員 名	連 絡 場 所	連 絡 担 当 者 (注)	事 業 区 分						備 考
			濃 度				振 動・ 加 速 度		
			大 気	水 質	土 壌	特・計			
(財)千葉県薬剤師会検査センター 理事長 櫻井 顯 (ホームページアドレス) http://www.chiba-kensacenter.or.jp e-mail:info_kanri@chiba-kensacenter.or.jp	〒260-0024 千葉市中央区中央港1-12-11 Tel 043-242-5828 Fax 043-242-5866	藤井 則昭 田中 清弘 (E.メールアドレス) fujii-noriaki@chiba-kensacenter.or.jp							産・上 悪・試 環・作
中外テクノス(株) 関東環境技術センター 所 長 鈴木 信久 (ホームページアドレス) http://www.chugai-tec.co.jp	〒267-0056 千葉市緑区大野台2-2-16 Tel 043-295-1101 Fax 043-295-1110	藤谷 光男 (E.メールアドレス) m.fujitani@chugai-tec.co.jp 甘崎 恭徳 (E.メールアドレス) y.amasaki@chugai-tec.co.jp				※	○	○	産・上 悪・試 環・作 (副会長) 甘崎 恭徳
(株)中研コンサルタント 関東支店技術部 技術部長 神田 彰久 (ホームページアドレス) http://www.chuken.co.jp/	〒274-0053(?) 船橋市豊富町585 Tel 047-457-3628 Fax 047-457-6284	関東支店 技術部長 神田 彰久 (E.メールアドレス) kanda@chuken.co.jp					○	○	試
月島テクノロジー(株) 代表取締役社長 西田 克範	〒272-0127 市川市塩浜1-12 Tel 047-359-1653 Fax 047-359-1663	技術検証部 須山 英敏 (E.メールアドレス) h_suyama@tsk-g.co.jp					○	○	試・上
(株)東京化学分析センター 代表取締役社長 森本 薫子 (ホームページアドレス) http://www.tcac.co.jp	〒290-0044 市原市玉前西2-1-52 Tel 0436-21-1441 Fax 0436-21-5999	営業部 鈴木 典子 (E.メールアドレス) suzuki123x@tcac.co.jp					○	○	産・上 悪・試
東京公害防止(株) 代表取締役社長 小野 次男	(二) 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-8-12 Tel103-3851-1923 Fax03-3851-1924 (赤) 〒277-0863 柏市豊四季508-53 Tel104-7174-6446 Fax04-7174-4624	小野 真一 (E.メールアドレス) shinichi-ono@tk-b.co.jp					○	○	上・作 産・悪 環・試
東電環境エンジニアリング(株) 環境技術センター 所長 武藤 敏夫 (ホームページアドレス) http://www.tee-kk.co.jp e-mail:muto-toshio@mail.tee-kk.co.jp	〒267-0056 千葉市緑区大野台2-3-6 Tel 043-295-8405 Fax 043-295-8407	松本 崇 (E.メールアドレス) matsumoto-takasi@mail.tee-kk.co.jp					○	○	産・上 悪・試 環・作 (会長) 武藤 敏夫
東洋テクノ(株) 環境分析センター 代表取締役社長 久保田 隆	〒289-1516 山武郡松尾町田越328-1 Tel 0479-86-6636 Fax 0479-86-6624	代表取締役社長 久保田 隆 (E.メールアドレス) Iong-kubota@nifty.com					○	○	産・環 上・試
(株)永山環境科学研究所 代表取締役社長 永山 瑞男 (ホームページアドレス) http://www.ngym.co.jp	〒273-0123 鎌ヶ谷市南初富1-8-36 Tel 047-445-7277 Fax 047-445-7280	環境計量士 永山 瑞男 (E.メールアドレス) ngym-mizuo@royal.ocn.ne.jp (赤) 永山 貴生 (E.メールアドレス) info@ngym.co.jp					○	○	産・上 悪・試 環・作

注) 特・計：特定計量証明事業 ※：県外事業所登録

産：産業廃棄物分析、環：環境アセスメント、上：上水分析、悪：悪臭、作：作業環境、試：試験・研究・開発
(赤)：赤本(年1回発行の会員名簿)の御担当 (二)：千環協ニュース会員名簿の御担当

※会員名簿は、一部個人情報を含むものですが、事前に会員各社における担当個人情報取り扱いの了解のもと掲載しております。
※会員名簿は、実際の印刷時点の最新のものを掲載しています。

会 員 名 簿

会 員 名	連 絡 場 所	連 絡 担 当 者 (注)	事 業 区 分						備 考	
			濃 度			特・計	音 圧	振 動・ 加 速 度		
			大 気	水 質	土 壌					
(財)成田国際空港振興協会 会 長 松井 和治 (ホームページアドレス) http://www.npf-airport.jp	〒289-1601 山武郡芝山町香山新田 宇雨堤76番地 Tel 0479-78-2462 Fax 0479-78-2472	環境部 篠原 直明 (E-メールアドレス) shino@nspf.or.jp		○				○	○	
ニッカウヰスキー(株) 環境分析センター 分析センター所長 安村 弘人 (ホームページアドレス) http://www.nikka.com/	〒277-0033 柏市増尾字松山967 Tel 04-7172-5472 Fax 04-7175-0290	環境分析センター所長 安村 弘人 (E-メールアドレス) h-yasumura@nikkawhisky.co.jp			○	○				
日鉄環境エンジニアリング(株) (旧：環境エンジニアリング㈱) 取締役事業本部長 浅川 武敏 (ホームページアドレス) http://www.k-eng.co.jp e-mail:nske-techno@nske.co.jp	〒292-0825 木更津市畑沢1-1-51 環境テクノセンター Tel 0438-36-5911 Fax 0438-36-5914	板倉 勝見 (E-メールアドレス) k-itakura@k-eng.co.jp	○	○	○	○	○	○	○	産 悪・試 環・作
日鉄環境エンジニアリング(株) 化学分析部 部長 堀 豊文 (ホームページアドレス) http://www.nske.co.jp e-mail:general@nske.co.jp	〒292-0836 木更津市新港15-1 Tel 0438-37-5872 Fax 0438-37-5867	資源エネルギー分析Gr 部長 橋崎武美 (E-メールアドレス) h_narasaki@nske.co.jp	○	○	○	※	※	※	※	産・上 悪・試 環・作 (副会長) 内野 洋之
日建環境テクノス(株) 代表取締役社長 辻 達郎 (ホームページアドレス) http://www.kentetsu.co.jp	〒273-0045 船橋市山手1-1-1 Tel 047-435-5061 Fax 047-435-5062	(赤)常務取締役 丸山 孝彦 (二)酒井 祐介 (E-メールアドレス) maruyama.t@cmail.kentetsu.co.jp sakai.y@cmail.kentetsu.co.jp			○	○				(監事) 丸山 孝彦
日 廣 産 業 (株) 環境技術センター 代表取締役 野々山 剛史	〒260-0826 千葉市中央区新浜町1番地 Tel 043-266-1221 Fax 043-266-1220	杉本 剛士 (E-メールアドレス) sugimoto0418nikko@tiara.ocn.ne.jp			○					
(株)日曹分析センター 千葉事業所 所長 柳田 光弘 (ホームページアドレス) http://www.ncas.co.jp e-mail:info@ncas.co.jp	〒290-0045 市原市五井南海岸12-54 Tel 0436-23-2149 Fax 0436-23-4982	高嶋 一英 (E-メールアドレス) k.takashima@nippon-soda.co.jp	※	○	○					産・作 試
(株)日鐵テクノロジー かずさ事業所 所長 小川晴久 (ホームページアドレス) http://www.nstr.co.jp	〒293-0011 富津市新富20-1 新日本製鐵㈱総合技術センター内 Tel 0439-80-2654 Fax 0439-80-2731	山本 満治 (E-メールアドレス) mi-yamamoto@nstr.co.jp	○	○	○	※	※	※	※	産・上 悪・試 作

注) 特・計：特定計量証明事業 ※：県外事業所登録

産：産業廃棄物分析、環：環境アセスメント、上：上水分析、悪：悪臭、作：作業環境、試：試験・研究・開発

(赤)：赤本(年1回発行の会員名簿)の御担当 (二)：千環協ニュース会員名簿の御担当

※会員名簿は、一部個人情報を含むものですが、事前に会員各社における担当個人情報取り扱いの了解のもと掲載しております。

※会員名簿は、実際の印刷時点の最新のものを掲載しています。

会 員 名 簿

会 員 名	連 絡 場 所	連 絡 担 当 者 (注)	事 業 区 分						備 考	
			濃 度				音 圧	振 動・ 加 速 度		
			大 気	水 質	土 壌	特・計				
日 本 環 境 (株) 千葉支店 支店長 鈴木 広美 (ホームページアドレス) http://www.n-kankyo.com	〒272-0014 市川市田尻3-4-1 Tel 047-370-2561 Fax 047-370-3050	粕川 博之 (E-メールアドレス) h_kasukawa@kan-e.co.jp	○	○	○	※	※	※	産・上 悪・試 環・作	
日 本 軽 金 属 (株) 船橋分析センター センター長 石澤 善博	〒274-0071 船橋市習志野4-12-2 Tel 047-477-7646 Fax 047-478-2437	石澤 善博 (E-メールアドレス) Yoshihiro_Ishizawa@shinnikkei.co.jp	○	○	○				産・上 試	
(株)日本公害管理センター 千葉支店 支店長 松倉 達夫 (ホームページアドレス) http://www14.ocn.ne.jp/~nkkc/ e-mail:nkkc-chiba@nctv.co.jp	〒286-0134 成田市東和田348-1 Tel 0476-24-3438 Fax 0476-24-2096	角田 幸喜 (E-メールアドレス) nkkc-chiba@nctv.co.jp	※	※	※		○	○	産・上 試	
日 立 フ ラ ン ト 建 設 サービス (株) 分析技術センター センター長 内富 康成 (ホームページアドレス) http://www.hitachi-hps.co.jp	〒271-0064 松戸市上本郷537 Tel 047-365-3840 Fax 047-367-6921	分析測定グループ (赤)堤兼 資郎 (E-メールアドレス) k_tutumi@hitachi-hps.co.jp 副技師長 片岡 正治 (E-メールアドレス) m_kataoka@hitachi-hps.or.jp							悪・上 試・産 作	
緋 古 河 電 工 エ ン ジ ニ ア リ ン グ サービス 代表取締役社長 工藤 誠 環境技術部長 西本 征幸 (ホームページアドレス) http://www.fees.co.jp e-mail:eigyo@fees.fitec.co.jp	〒290-8555 市原市八幡海岸通り6 Tel 0436-42-1608 Fax 0436-42-1796	西本 征幸 (E-メールアドレス) nishimoto@fees.fitec.co.jp 中嶋 陽一 (E-メールアドレス) nakajima@fees.fitec.co.jp		○	○	○			環	
(株)三井化学分析センター 市原分析部長 須藤 和冬 (ホームページアドレス) http://www.mcanac.co.jp/	〒299-0108 市原市千種海岸3番地 Tel 0436-62-9490 Fax 0436-62-8294	市原分析部 安村 則美 (E-メールアドレス) norimi.yasumura@mitsui-chem.co.jp		○	○	○			産・作 試	
(株)ユーベック 代表取締役社長 飯塚 嘉久 (ホームページアドレス) http://www.ubec.co.jp/ e-mail:info@ubec.co.jp	〒292-0004 木更津市久津間613 Tel 0438-41-7878 Fax 0438-41-7876	業務部 (赤)川岸 決男 (E-メールアドレス) info@ubec.co.jp (二)飯塚 嘉久 (E-メールアドレス) yubec@aqualine.ne.jp		○	○	○		○	○	産・上 悪・作 試

注) 特・計：特定計量証明事業 ※：県外事業所登録

産：産業廃棄物分析、環：環境アセスメント、上：上水分析、悪：悪臭、作：作業環境、試：試験・研究・開発

(赤)：赤本(年1回発行の会員名簿)の御担当 (二)：千環協ニュース会員名簿の御担当

※会員名簿は、一部個人情報を含むものですが、事前に会員各社における担当個人情報取り扱いの了解のもと掲載しております。

※会員名簿は、実際の印刷時点の最新のものを掲載しています。

会 員 名 簿

会 員 名	連 絡 場 所	連 絡 担 当 者 (注)	事 業 区 分						備 考
			濃 度				音 圧	振 動・ 加 速 度	
			大 気	水 質	土 壌	特・計			
ヨシザワ(株) 柏研究所 代表取締役社長 原 功 (ホームページアドレス) http://www.yoshizawa-la.co.jp	〒277-0804 柏市新十條二丁目17-1 Tel 04-7131-4122 Fax 04-7131-4124	結城 清崇 (E-メールアドレス) yuuki@yoshizawa-la.co.jp		○	○				
ライト工業(株) 技術研究所 所 長 飯尾 正俊 (ホームページアドレス) http://www.raito.co.jp	〒274-0071 船橋市習志野4-15-6 Tel 047-464-3611 Fax 047-464-3613	飯尾 正俊 (E-メールアドレス) iimasa@raito.co.jp		○	○				

[賛助会員]

会 員 名 簿

会 員 名	連 絡 場 所	連 絡 担 当 者 (注)	事 業 区 分						備 考
			濃 度				音 圧	振 動・ 加 速 度	
			大 気	水 質	土 壌	特・計			
(株)エイビス 代表取締役 吉武 俊一 (ホームページアドレス) http://www.aivs.co.jp e-mail:info@aivs.co.jp	〒105-0014 東京都港区芝3丁目3番14号 ニットクビル5F Tel 03-5232-3678 Fax 03-5232-3679	東京営業所所長 渡邊 浩二 (E-メールアドレス) kwatanabe@aivs.co.jp							
(株)環境技術研究所 千葉営業所 所長 青柳 幹夫 (ホームページアドレス) http://www.etlabo.co.jp http://www.etlabo.co.jp	〒270-1132 我孫子市湖北台2-12-15 Tel 047-110-0359 Fax 047-110-0360	青柳 幹夫 (E-メールアドレス) aoyagi.mikio@etlabo.co.jp	※	※	※		※	※	産・上 悪・試 環・作
(株)コスモス テクノアシエイト事業部 事業部長 柴田 美保子 (ホームページアドレス) http://www.cosmos-flw.co.jp	〒260-0028 千葉市中央区新町18-14 千葉新町ビル7F Tel 043-248-2391 Fax 043-248-2071	柴田美保子 (E-メールアドレス) shibata@cosmos-flw.co.jp							
(株)東海地質 代表取締役 初瀬川重雄	〒286-0135 成田市山ノ作134 Tel 0476-24-7120 Fax 0476-24-7121	専務取締役 初瀬川ひろ美 (E-メールアドレス) green.leaf@io.ocn.ne.jp							
東京テクニカル・サービス(株) 東京支店・分析センター 代表取締役 吉池 南 (ホームページアドレス) http://www.tts-4u.co.jp	(二) 〒134-0088 東京都江戸川区西葛西8-20-2 Tel 03-3688-3284 Fax 03-5667-1084 (赤) 〒279-0022 浦安市今川4-12-38-1 Tel 047-354-5337 Fax 03-5667-1084	増子 勉 (E-メールアドレス) tokyo@tts-4u.co.jp	※	※	※	※	※	※	産・上 悪・試 環・作

注) 特・計：特定計量証明事業 ※：県外事業所登録

産：産業廃棄物分析、環：環境アセスメント、上：上水分析、悪：悪臭、作：作業環境、試：試験・研究・開発

(赤)：赤本(年1回発行の会員名簿)の御担当 (二)：千葉協ニュース会員名簿の御担当

※会員名簿は、一部個人情報を含むものですが、事前に会員各社における担当個人情報取り扱いの了解のもと掲載しております。

※会員名簿は、実際の印刷時点の最新のものを掲載しています。

会員名簿の記載事項に変更が
ございましたら、都度、下記書式にて、
千環協事務局宛ファックス願います。

Fax通信

Fax: 043-300-3312

千環協:事務局御中

(株)環境管理センター 東関東支社内)

会員名簿記載事項変更連絡

会員名 : _____

FAX 送信者 : _____

今般、記載事項に変更がありましたので下記の通り連絡致します【変更部分のみ記載しています】。

変更実施		年 月 日より	
項	目	変更 (変更項目のみ記載で可)	備 考
会員名	社名		
	代表者名		
	HPアドレス		
連絡場所	住所		
	TEL		
	FAX		
連絡担当者名前			
連絡担当者メールアドレス			
事業区分			

※ 備考：備考欄には、差し支えない範囲内で変更事由を記載下さい。

〔事務局処理〕

受付日	年 月 日		受付No.	
FAX 連絡	会 長 宛	理事会への報告: 年 月 予定		
	広報委員長宛	ニュース 年 月 (No. 号) 変更予定		

－ 編 集 後 記 －

千環協ニュース第 81 号をお届けします。

これまでの千環協ニュースは、原稿がまとまった時点での印刷・発行・配布というサイクルで運営してきましたが、原稿の入手や編集作業の遅れ等により、会員ならびに関係各位の皆様のお手元に届くのが遅くなるといった状況が続いておりました。このため、昨年度より発行形態を見直し、紙ベースのニュースについては年 3 回の発行から年 2 回の発行に集約することとし、さらには今年度より、年度計画等の会員の皆様に早くお伝えしなければならない情報はもちろん、ニュースすべての原稿についても、原稿や情報が整理された段階で HP 上に掲載することにしました。この対応は、協会 HP の会員の皆様による今後を見据えた協会情報の活用促進を意図したものでもあります。よって、今回お届けしたニュース原稿の大半は、協会の事業計画等も含めて、総会及び合同委員会が開催された 6 月以降から、順次 HP に内容記事を掲載しております。すでに協会 HP でご覧になられている皆様もおられるとは思いますが、今期前半の協会活動の集約情報として、再度、ニュースをお手にとってご覧いただければ幸いです。今後も、有用な情報を会員の皆様に、可能な限り早くお伝えできるように努めていきたいと思っております。あわせて、今後も、よりよい協会活動ならびにより充実した紙面づくりに会員の皆様のご協力をお願いしたいと思います。

編集後記を書いている時期は、サブプライムローン問題に端を発した 100 年に一度あるかないかの世界同時不況の進行という中で、平成 20 年末に向かっていく時期にあたりました。あわせて、7 月に開かれた北海道洞爺湖サミットを経て、地球温暖化への対応という経済回復にあたっては短期的に見れば重い課題や原油高の高騰による経済の混乱等、石油資源偏重の既成経済活動から世界の大きな舵取りを始めなければならないと認識させられた節目の年にもなりました。

これまでの異常気象問題に加えて、新たに異常経済といった現象を経て、世界を大きく変えていかなければならないのだと世界の人々に感じさせてくれた時期でもありました。このような中、会員ならびに関係各位におかれましては、ダイナミックに変化する経済状況にあって、さまざまな対応をされていると思います。この対応の中で、再度「環境」という業務の足元を見て、地域に根ざした地道で着実な取組みのなかにこそ、将来の「芽」が見えてくるのではないかと思うとともに、これからの皆様のご活躍をお祈りいたします。

(執筆担当 吉本)

広報・情報委員長
委 員

吉本 優	(株)環境管理センター
伊藤 浩征	(株)住化分析センター
相馬 顕紀	クリタ分析センター(株)
高垣 博志	イカリ消毒(株)
初瀬川 ひろ美	(株)東海地質
結城 清崇	ヨシザワ(株)
吉野 昭仁	習和産業(株)

千環協ニュース第 81 号

平成 20 年 12 月 25 日

発行 千葉県環境計量協会

〒266-0031 千葉市緑区おゆみ野 5-44-3

(株)環境管理センター内

TEL (043)300-3300

TEL (043)300-3312

協会 HP アドレス <http://www.senkankyo.jp>

印刷 有限会社 千葉写真商会

〒260-0842 千葉市中央区南町 3-12-7

TEL (043)265-1955

Fax (043)263-4323